

Intensive Japanese Programs

履修案内

Fall Semester

2014-2015

平成26年度秋学期



Center for Japanese Language and Culture
Osaka University

大阪大学日本語日本文化教育センター

INTENSIVE JAPANESE PROGRAMS



Fall Semester

2014-2015

目次

がくねんれき 学年暦	iii
へいせい ねんど あきがつき がくねんれき 平成26年度秋学期学年暦	iii
おおさかだいがく にほんご にほんぶん かきょういく 大阪大学日本語日本文化教育センター日本語プログラム	1
プログラムの種類、授業、試験・成績、修了認定、授業科目の履修	1
CJLC 事務室の事務取扱	9
CJLC 図書室・コンピュータラウンジ	11
日本語能力 証明書の発行について	15
主要交通機関運休及び暴風警報・特別警報発令時の場合の 授業の取扱いについて	21
にほんご にほんぶん けんしゅうりゅうがくせい 日本語・日本文化研修留学生プログラム [J]	23
1. 研修コース	23
2. 研究コース：日本語研究コース・日本文化研究コース	23
A. プログラムの修了要件	27
B. 開講授業科目	35
C. 必修科目授業	37
D. 選択科目授業	41
D - . 研修科目授業	43
D - . 研究科目授業	49
E. 諸活動研修	57
がくぶ りゅうがくせい 学部留学生プログラム [U]	59
A. プログラムの修了要件	61
B. 必修科目授業	67
C. 選択科目授業	77
かもく 科目コード	79
りやくごう 略号	80
みのお 箕面キャンパスマップ	81
にほんごにほんぶんかきょういく どう 日本語日本文化教育センター棟	83
りしゅうとどけ ぶ ていしつよう ほんにんひかえ 履修届（2部）提出用、本人控	巻末

へいせい ねん ど あきがっ き がくねんれき
平成26年度秋学期学年暦

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	㉓	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	⑪	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	㉑
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

しゅくじつ
: 祝日

オリエンテーション (J)	9月25日	—	9月30日
プレースメントテスト (日本語既習者 対象)	9月25日	—	9月29日
秋学期開始	10月1日		
授業開始 (J)	10月1日		
履修登録期間	10月1日	—	10月21日
履修登録締切日	10月21日		
履修登録確認期間	10月24日	—	10月30日
日本語 / 専門科目試験期間 (U)	11月25日	—	12月8日
補講期間 (U)	12月17日	—	12月19日
補講期間 (J)	12月16日	—	12月18日
冬季休業 (J/U)	12月20日	—	1月4日
授業再開 (J/U)	1月5日		
春学期専門演習・修了論文届提出締切日 (J)	1月28日		
補講期間 (J)	1月29日	—	1月30日
必修 / 選択科目試験期間 (J)	1月28日、2月3日	—	2月16日
春学期研究コース研究計画書提出締切日 (J)	2月13日		
論文提出締切日 (U)	2月16日		
日本語 / 専門科目試験期間 (U)	2月17日	—	3月2日
特別授業期間 (J)	2月17日	—	2月20日
秋学期終了	3月31日		

がくねんれき へんこう
学年暦は変更されることがあります。

大阪大学日本語日本文化教育センター

日本語プログラム

1. プログラムの種類

大阪大学日本語日本文化教育センターでは、国費外国人留学生を主たる対象として、さまざまな短期集中日本語プログラムを提供しています。プログラムはその内容により次のように区分されています。各プログラムの詳しい内容については、後掲のプログラム別履修案内のページを見てください。メイプル・プログラムについては別冊を参照してください。

- ① 日本語・日本文化研修留学生プログラム [J]
- ② 学部留学生プログラム [U]
- ③ メイプル・プログラム [M]

2. 授業

(1) 学期

1年を春学期(4月1日から8月31日 [M] / 9月30日 [J, U] まで)と秋学期(10月1日から翌年3月31日)に分けます。

Jプログラムの授業は春学期に15週、秋学期に15週、年間30週、Uプログラムの授業は年間36週にわたって開講しています。

(2) 授業時間

授業は1時限当たり90分で行い、月曜日から金曜日まで、1日5時限開講しています。

時 限	授 業 時 間
第 1 時限	午前 8:50 — 10:20
第 2 時限	午前 10:30 — 12:00
第 3 時限	午後 1:00 — 2:30
第 4 時限	午後 2:40 — 4:10
第 5 時限	午後 4:20 — 5:50

(3) 学修時間

授業の方法に応じて学修時間を次のように定めています。

種別	講義	演習
学修時間	授業15時間	自習30時間

種別	実習
学修時間	授業30時間 自習15時間

(4) 休講

休講は CJLC 事務室前の掲示板によって通知しますので、授業前に必ず確認してください。

休講の掲示がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当講師が出講しない場合は、

CJLC 事務室に連絡して、その指示を受けてください。

交通機関の運休や暴風警報・特別警報の発令によって授業が休講になる場合があります。

「主要交通機関運休及び暴風警報・特別警報発令時の場合の授業の取り扱いについて」(21ページ参照)に従って、休講になるかどうかを判断してください。

(5) 補講

授業の進度または休講を補う授業として補講が行われる場合があります。直接担当講師が指示するほか、掲示によっても通知します。

(6) 出席

本センターの短期集中日本語プログラムでは、20%以上授業を欠席すると、プログラム修了が認められなくなりますので注意してください。やむをえない理由での欠席の場合、欠席前、または欠席後1週間以内に、「欠席届」を CJLC 事務室まで届け出なければなりません。その際、欠席理由を証明する書類を添付しなければなりません。「欠席届」の用紙は CJLC 事務室にあります。

3. 試験・成績

(1) 試験

試験は、筆記試験、口頭試験、レポート、論文、実技等の方法によって行われます。出席回数、定期試験外に行われる試験の成績などが加味されることもあります。また、平常の成績をもって試験の成績に代える場合もあります。各授業がどのような評価方法を用いるかは、別冊『授業案内』を参照してください。

● 試験に関する注意事項

- ① 試験に関する通知は掲示により行います。ただし、定期試験以外の試験については、授業担当講師から口頭で通知されます。なお、発表後も変更になる場合がありますので、掲示に注意してください。
- ② 定期試験を実施する授業科目名は、原則として試験期間の2週間前に通知します。試験の日程や内容に関する通知は、試験期間の1週間前に行います。
- ③ 試験開始時間から30分以上遅れて来た場合は、試験を受けられませんので、遅れないように注意してください。試験開始後45分以降は、試験会場から退室することができます。
- ④ 試験中にカンニングなどの不正行為が発覚した場合は、即時受験を停止し、当該科目の無効を命じられます。不正行為を行った場合、学則により懲戒処分を受けます。
- ⑤ やむをえない理由で試験が受けられない場合は、「欠席届」により CJLC 事務室に届け出てください。「欠席届」の用紙は CJLC 事務室にあります。
- ⑥ 履修登録をしていない科目を受験しても無効です。

(2) 成績の評価

履修した授業科目の成績は、次表のとおり「S・A・B・C・F」のランクで評価されます。

判定	割合				不合格
評価	S	A	B	C	F
成績 (100点満点)	100 - 90点	89 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	59 - 0点

(3) 成績の通知

履修した授業科目の成績は、当該学期の修了式以降に「成績通知表」として各自に配布します。

4. 修了認定

(1) 修了要件

各プログラムにおいて所定の授業科目を修得することが必要です。具体的な授業科目名、科目数、必修・選択科目などの内訳は、後掲のプログラム別履修案内を参照してください。

修了の可否は、春学期については9月に、秋学期については3月に掲示によって発表します。

(2) 修了証書

プログラムの所定の修了要件を、定められた履修方法によって修めた者には、「修了証書」が授与されます。

5. 授業科目の履修

(1) プレースメント — 日本語レベルの判定

本センターで開講されている授業科目を履修するためには、日本語レベルの判定を受けなければなりません。日本語レベルの判定は、プレースメントアンケートとプレースメントテストによって行われます。プレースメントテストの日程や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

① プレースメントアンケート

大学での専攻や外国語(日本語を含む)学習歴などを尋ねるアンケートです。全員必ずアンケートに回答し、CJLC 事務室に提出してください。

② プレースメントテスト(文法・漢字・作文・面接)

日本語を勉強したことがある人は、必ず学期毎にプレースメントテストを受験してください。

(2) かなクラス

本センターで開講されている授業科目を履修するためには、ひらがな、かたかなを勉強していないければなりません。ひらがな、かたかなを勉強したことがない学生は、オリエンテーション期間に開講される「かなクラス」に必ず参加してください。「かなクラス」の日程や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

(3) 履修説明会(プログラム別履修オリエンテーション)

学期開始時に授業科目の履修方法に関する説明会を行います。指定クラスの必修科目の教材なども配布されますので、全員必ず出席してください。プログラム別履修オリエンテーションの日時や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

(4) 履修登録

学期毎に履修登録を行います。履修登録は「履修届」によって行ってください。「履修届」はこの冊子の末尾にあります。

履修登録をしていない科目は、授業に出席していても修得したとは認められず、成績を受け取ることはできません。履修登録ミスがあっても、履修登録期間以降の訂正は認められませんので、くれぐれも登録ミスがないよう細心の注意を払って手続きをしてください。

履修登録期間は、授業開始から約2週間です。提出期限を過ぎての「履修届」提出は認められませんので、必ず履修登録期間中に CJLC 事務室窓口で登録を完了するようにしてください。(郵送、メールでの提出は受け付けません。)

● 履修登録に関する注意事項

- ① 指定された授業科目以外の科目を履修登録することはできません。
- ② 指定されたクラスの授業以外に登録できない授業科目があります。上記(3)のプログラム別履修オリエンテーションでの「履修上の注意」に留意し、その指示に従って履修してください。
- ③ 履修登録後、履修登録確認期間中に、「履修登録確認表」を CJLC 事務室で受け取り、誤りがないかどうかチェックし、誤りの有無にかかわらず、署名のうえ必ず CJLC 事務室に提出してください。

(5) 修了論文

本センターでは、修了論文を課しているプログラムやコースがあります。具体的には、後掲のプログラム別履修案内を参照し、指示に従って提出期限までに論文を提出してください。

6. CJLC事務室の事務取扱

(1) 事務取扱時間

CJLC 事務室の事務取扱は次のとおりです。

場所	日本語日本文化教育センター棟1階	
窓口事務取扱時間	午前	10:00 - 11:15
	午後	0:15 - 4:30

(注) 臨時の休業や窓口取扱時間を変更する場合は、掲示で通知します。

(2) 教務関係事項の通知方法

授業や試験に関する連絡など教務関係の通知は、すべて掲示で行います。CJLC 事務室前の掲示版を、授業前に必ず確認してください。

(3) 電話による照会

休講、行事予定、その他授業や試験に関する連絡は、すべて掲示によって行っています。電話等で照会しても一切受け付けません。講師の住所や電話番号の問い合わせにも応じません。

(4) 証明書

教務関係の証明書類は、CJLC 事務室窓口で「証明書交付願」により申請してください。原則として、申請日から7日後に受け取ることができます。ただし、年度末(3月)など混み合う時期は、10日程度の余裕を見ておいてください。

CJLC 事務室窓口で発行される教務関係の証明書については 13 ページを参照してください。

- ① 成績証明書
- ② 修了証明書
- ③ 在籍証明書(過去の在籍者で非修了者のみ)
- ④ 日本語能力証明書(学部留学生プログラムを除く)

7. CJLC 図書室・コンピュータラウンジ

センター棟 2 階には、図書室とコンピュータラウンジがあります。

図書室には一般図書のほか、日本語学習の各種テキストや問題集などを配架しており、CD やカセットテープなどの付属教材を聴きながら学習できる自習コーナーもあります。

日本文学資料として、芸能、映画、ドラマやアニメなどの AV 資料や、それを視聴するための設備も備えています。使いたい資料は CJLC のホームページの「日本文学資料データベース」で検索して下さい。コンピュータラウンジでは、コンピュータとプリンターが利用できます。オリエンテーション時に配布される利用者カードをお持ちください。

開室時間 月曜日～金曜日 10:00-18:30 (祝日を除く)

(注) その他必要に応じ、臨時に閉室することがあります。

しょうめい しょう しき
証明書の様式

①-1 ^{がくぶりゅうがくせい} 学部留学生プログラム用 ^{よう}

No.D

成績証明書 (国費外国人留学生)

所属	日本語日本文化教育センター 学部留学生プログラム	平成 年 月 日 入 学	修 了
国籍	氏名	生年月日	性別
個人番号			

教科・科目の評定			評定段階	教科・科目の特記事項
教科・科目	評定	授業時数 (講義時数)	S: 90-100点 A: 80-89点 B: 70-79点 C: 60-69点 F: 0-59点 免: 履修免除	
日本語	聴解 読解 文法 文字 口頭表現 文章表現			
日本事情				
英語				
文科系	政治経済 日本史			
理科系	選択数学 数学 化学 物理			
合 計			0	

本書の記載事項に相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長
岩井 康雄

①-2 ^{がくぶりゅうがくせい} 学部留学生プログラム以外 ^{いがい}

No.D

成績証明書

H 年 月 - H 年 月
登録期間

学籍番号	氏名	生年月日	国籍
日本語日本文化教育センター			国費留学生
機関名	プログラム名	コース名	身分

コード	種別	必修科目	単位	評定	学期
コード	種別	選択科目	単位	評定	学期

単位数合計:

1単位: 週あたりの時間授業、又はそれに相当するもの

評定基準:

S - 秀 90-100点
A - 優 80-89点
B - 良 70-79点
C - 可 60-69点

学期: 15週

本書の記載事項に相違ないことを証明する

平成 年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長
岩井 康雄

②

証第C- 号

修了証明書

在学期間

氏 名

性 別

生年月日

国 籍

平成 年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長
岩井 康雄

上記のとおり国費外国人留学生(学部留学生)として本学日本語日本文化教育センター所定の課程を修了したことを証明する。

③

証第B- 号

在籍証明書

在学期間 年 月 ~ 年 月

氏 名

性 別

生年月日 年 月 日

国 籍

年 月 日

大阪大学日本語日本文化教育センター長
岩井 康雄

上記のとおり国費外国人留学生(学部留学生)として本学日本語日本文化教育センターに在籍していたことを証明する。

日本語能力証明書の発行について

次の要件を満たした場合には、＜会話＞＜読解＞＜文法・作文＞の項目について、日本語能力を証明します。この3項目に基づいて＜総合評価＞を判定します。
ただし、学部留学生プログラムを除きます。

＜会話＞

会話 Level 4

専門的なことについても研究発表や議論ができる。

要件：選択科目の「上級聴解」「上級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 3

一般的なことについて議論ができる。講義を聞いて理解できる。

要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中級聴解」「中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 2

日常生活に不自由しない程度の会話ができる。自分の研究について簡単な質疑応答ができる。

要件：必修科目の「初級文法」を合格しており、かつ、選択科目の「初級聴解」「初級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 1

ごく簡単な日常会話ができる。自分の研究について簡単な説明ができる。

要件：必修科目の「初級文法」及び「初級聴解」を合格しており、かつ、選択科目の「初級聴解」「初級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

＜読解＞

読解 Level 4

高度な学術論文が理解できる。約2,000字の漢字、約8,000語の語彙を習得している。

要件：プレースメントテストで「文法」問題 B が130点以上、かつ、「漢字」問題 C が70点以上の成績の場合、または、選択科目の「上級文法」「漢字研究」「上級読解」「上級漢字」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい
読解 Level 3

せんもんようご ふく こうど ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
専門用語を含むやや高度な文章が理解できる。約1,000字の漢字、約5,000語の語彙を習得し
ている。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの ごうかく せんたくかもく ちゅう
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中
級文法」「中級漢字」「中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい
読解 Level 2

せんもんようご ふく いっぱんてき ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
専門用語を含まない一般的な文章が理解できる。約500字の漢字、約3,000語の語彙を習得し
ている。

ようけん ひっしゅうかも しょちゅうきゅうぶんぼう およ しょちゅうきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくか
要件：必修科目の「初中級文法」及び「初中級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科
目「初中級文法」「初中級漢字」「初中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格
していること。

どっかい
読解 Level 1

やさ ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
ごく易しい文章が理解できる。約300字の漢字、約1,800語の語彙を習得している。

ようけん ひっしゅうかも しょきゅうぶんぼう およ しょきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくかもく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科目の
「初級文法」「初級漢字」「初級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格しているこ
と。

ぶんぼう さくぶん
<文法・作文>

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 4

せんれん にほんご けんきゅうろんぶん さくせい
洗練された日本語で研究論文を作成することができる。

ようけん ぶんぼう もんだい てんいじょう かんじ もんだい
要件：プレースメントテストで、「文法」問題 B が130点以上、かつ、「漢字」問題 C が70
点以上の成績の場合。または、選択科目の「上級作文」「上級文法」の少なくとも1科目
（「上級作文」の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 3

きほんてき ぶんけい じゆう つか せいかく にほんご さくせい
基本的な文型（約250）を自由に使ってほぼ正確な日本語でレポートを作成することができ
る。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの てんいじょう ごうかく せんたく
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを70点以上で合格しており、かつ、選択
科目の「中級作文」「中級文法」の少なくとも1科目（「中級作文」の方が望ましい）を70点
以上で合格していること。

ぶんぽう さくぶん
文法・作文 Level 2

基本的な文型（約200）を使って簡単なレポートを作成することができる。

要件：必修科目の「初中級文法」及び「初中級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格しており、かつ、選択科目の「初中級作文」「初中級文法」の少なくとも1科目（「初中級作文」の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぽう さくぶん
文法・作文 Level 1

初級レベルの基本的な文型（約150）を使って短い文を作ることができる。

要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格しており、かつ、選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

よう しき
様 式

大阪大学 日本語日本文化教育センター
日本語能力証明書
CERTIFICATE OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY
CENTER FOR JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE, OSAKA UNIVERSITY

氏名
Name

生年月日
Date of Birth

国籍
Nationality

性別
Sex

プログラム
Program

登録期間
Period of Enrollment

From Year/Quarter To Year/Quarter

上記の者は下記レベルの日本語能力に到達したことを証明します。
This is to certify that the above named person has achieved the following level of Japanese language ability.

総合評価
General Ability

聴解
Listening/Speaking

読解
Reading Comprehension

文法・作文
Grammar/Writing

発行単位
Date of Issue

大阪大学 日本語日本文化教育センター
Director, Center for Japanese Language and Culture

岩井 康雄
Y. Iwai

Official Seal

しゅようこうつうきかんうんきゅうおよ ぼうふうけいほう・とくべつけいほうはつれいじ ばあい
主要交通機関運休及び暴風警報・特別警報発令時の場合の
 じゅぎょう とりあつか
授業の取扱いについて

へいせい ねん がつ かきょうじゅかいけつてい
 平成25年11月14日教授会決定

こうつうきかんうんきゅう ばあい と あつか
1. 交通機関運休の場合の取り扱い

さいがいなど はんきゅうでんでつ うめだ きたせんりかん ちかてつ きたおおさかきゅうこうでんでつ うめだ
 ストライキ、災害等により、阪急電鉄（梅田－北千里間）、地下鉄・北大阪急行電鉄（梅田－
 せんりちゅうおうかん はんきゅう せんりちゅうおう またにじゅうたく はんだいがいこく ごかくぶまえ うんきゅう
 千里中央）、阪急バス（千里中央－間谷住宅・阪大外国語学部前）のいずれかが運休となっ
 ばあい ぜんじつじゅぎょうきゅうこう うんきゅう かいじょ ばあい つぎ と あつか
 た場合は、全日授業休講とする。ただし、運休が解除された場合は、次のとおり取り扱う。

うんきゅうかいじょじこく 運休解除時刻	じゅぎょう と あつか 授業の取り扱い
ごぜん じ いぜん かいじょ ばあい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じ いぜん かいじょ ばあい 午前9時以前に解除された場合	だい じげん だい じげんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ぼうふうけいほう・とくべつけいほうはつれいじ と あつか
2. 暴風警報・特別警報発令時の取り扱い

おおさか ふ とよなかし すいたし みのおし また し ふく ちいき ぼうふうけいほう また
 大阪府豊中市・吹田市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報」又は
 とくべつけいほう はつれい ばあい ぜんじつじゅぎょうきゅうこう けいほう かいじょ ばあい
 「特別警報」が発令された場合は、全日授業休講とする。ただし、警報が解除された場合は、
 つぎ と あつか
 次のとおり取り扱う。

けいほうかいじょじこく 警報解除時刻	じゅぎょう と あつか 授業の取り扱い
ごぜん じ いぜん かいじょ ばあい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じ いぜん かいじょ ばあい 午前9時以前に解除された場合	だい じげん だい じげんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ちゅうい かいじょ かくにん など ほうどう
 (注意) 解除の確認は、ラジオ、テレビ・インターネット等の報道によるものとする。

ほそく じゅぎょうじかんたいちゅう ぼうふうけいほうまた とくべつけいほう はつれい ばあい とうがいじゅぎょうしゅうりょういご きゅうこう
 (補足) 授業時間帯中に暴風警報又は特別警報が発令された場合は、当該授業終了以後は休講と
 する。

ふ き
附記

と あつか へいせい ねん がついつたち じっし
 この取り扱いは、平成25年12月1日から実施する。

にほんご にほんぶんか けんしゅうりゅうがくせい
日本語・日本文化研修留学生プログラム [J]
 につけんせい
日研生プログラム

日本語・日本文化研修留学生プログラムは、日本語・日本文化に関する分野を専攻する学部レベルの国費外国人留学生(日研生)を対象とした1年間のプログラムです。日本語の能力や技能を高めるだけでなく、日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけることを目指します。さらに、期間中に行われる諸活動に参加することによって、実際の日本社会でのさまざまな体験を通して、多面的に日本語、日本文化、日本社会について理解を深めることができます。

プログラムは「研修コース」と「研究コース」の2つのコースから構成されています。研究コースは研究の対象によってさらに「日本語研究コース」と「日本文化研究コース」とに分かれます。

1. 研修コース

日本語を活用して社会で活躍することを希望する学生向けのコースです。研修コースでは、学内外で実施されるさまざまな研修に参加して、日本語の能力や技能を高め、実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけます。コース修了時に、高度な内容の日本語を正確に理解し、自分の意見等を的確な日本語で伝達できるようになることが目標です。

2. 研究コース：日本語研究コース・日本文化研究コース

日本語・日本文化について研究することを希望する学生向けのコースです。研究コースでは、日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や日本語能力を身につけることができます。日本語や日本語教育に関する研究を行う人は「日本語研究コース」に、日本文学や日本の歴史、文化、社会、経済などに関する研究を行う人は「日本文化研究コース」に入ります。研究コースには学生の目的に応じて「論文作成トラック」と「自主研究トラック」があります。

「論文作成トラック」

自分の研究テーマがはっきりと決まっており、そのテーマについての研究を深めて、研究論文の形にまとめることを目的とする学生のためのトラックです。学生は指導教員の研究指導を受けて、コース修了時に日本語で研究論文を作成します。また、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになることも目指します。

「自主研究トラック」

次のような目的を持った学生のためのトラックです。

- ・本国での研究論文作成の準備として、自分の研究テーマに関する資料収集や調査を主にやりたい。

- ・本国での研究論文作成に向けて、研究の基礎的な方法論を身につける、基本的な文献を読む、といった研究の準備作業を主にやりたい。

学生は指導教員の研究指導を受けながら自主的に研究を進めます。コース修了時には、自分の研究成果をレポートにまとめます。また、その研究について口頭発表や質疑応答ができるようになることも目指します。

A. プログラムの修了要件

- (1) 1年は2つの学期に分かれます。10月から翌年の3月までを「秋学期」、4月から9月までを「春学期」として、学期ごとに授業の登録をしなければなりません。
- (2) 全ての学生は、研修コースか研究コースのいずれかを選択し、さらに研究コースの学生は論文作成トラックか自主研究トラックのいずれかに属します。学生は、コース、トラックごとに定められた数の必修科目と選択科目を、種別ごとに修得しなければなりません。コースの内容や決定方法については、オリエンテーションで説明されます。
- (3) プレースメントテストの結果、必要と認められた学生は、指導教員の指導に従って、「現代日本語3」を適切な数、履修しなければなりません。
- (4) 授業への出席率は80%以上でなければなりません。
- (5) 各学期の学期末に定期試験が行われます。定期試験の最低合格点は60点です。試験期間は学年暦で確認してください。
- (6) 全ての学生は、プログラム修了時に日本語で課題を書いて提出しなければなりません。研修コースの学生は、学内外で実施されるさまざまな研修に参加し、その成果を日本語でまとめて報告しなければなりません。研究コース・論文作成トラックの学生は、自分の研究について日本語で修了論文を書き、プログラム修了時に提出して口頭試問に合格しなければなりません。研究コース・自主研究トラックの学生は、文献講読や調査を通して深めた自分の研究テーマについて日本語でレポートを書き、プログラム修了時に提出しなければなりません。

1. 研修コース

科目種別		最低履修授業科目数(コマ数)			
		あきがつき 秋学期	はるがつき 春学期	しょうけい 小計	ごうけい 合計
必修科目	専門演習* ^A	1	1	2	23
選択科目* ^B	研修科目	4以上	4以上	21	
	研究科目* ^C * ^D	2以上			

- *^A 専門演習「日本語・日本文化研修指導」で指導を受けた自分の研修課題を、定められた期限までに CJLC 事務室に提出しなければなりません。提出期限は CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。
- *^B 選択科目は、中級レベルと上級レベル以外に、初中級レベルの選択科目からも履修することができます。毎学期4科目以上の研修科目を履修する他に、1年間で研究科目を2科目以上履修しなければなりません。履修する科目内容については、プログラム別オリエンテーションや専門演習で指導を受けて決めてください。プレースメントテストの結果、必要と認められた学生は、指導教員の指導に従って、「現代日本語3」を適切な数、履修しなければなりません。
- *^C これまでに日本語学や日本文化論についての基礎的な授業科目を履修したことがない学生は、指導教員の指導に従って、「日本語学入門」「日本語教育学入門」「日本文学入門」「日本文化入門」の中から適切なものを選んで履修してください。
- *^D 文学部、人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部で春学期に開講される日本語・日本文化に関する講義科目のうち、CJLC が指定した科目を、最大2科目まで登録・履修し、研究科目として読み替えることができます。

2. 研究コース

① 日本語研究コース

② 日本文化研究コース

論文作成トラック

科目種別		最低履修授業科目数(コマ数)			
		あきがつき 秋学期	はるがつき 春学期	しょうけい 小計	ごうけい 合計
必修科目	専門演習 ^{*A}	1	1	2	21
選択科目 ^{*B}	研修科目	6以上		19	
	研究科目 ^{*C*D}	6以上			
修了論文 ^{*E}					

^{*A} 専門演習は「日本語・日本文化研究指導」を履修します。

^{*B} 選択科目は、中級レベルと上級レベル以外に、初中級レベルの科目からも履修することができます。研究コースの学生は、1年間で研修科目・研究科目を各々6科目以上履修しなければなりません。履修する科目内容については、プログラム別オリエンテーションや専門演習で指導を受けて決めてください。プレースメントテストの結果、必要と認められた学生は、指導教員の指導に従って、「現代日本語3」を適切な数、履修しなければなりません。

^{*C} これまでに日本語学や日本文化論についての基礎的な授業科目を履修したことがない学生は、指導教員の指導に従って、「日本語学入門」「日本語教育学入門」「日本文学入門」「日本文化入門」の中から適切なものを選んで履修してください。

^{*D} 文学部、人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部で春学期に開講される日本語・日本文化に関する講義科目のうち、CJLCが指定した科目を、最大2科目まで登録・履修し、研究科目として読み替えることができます。

^{*E} 専門演習で指導を受けた自分の研究について日本語で論文を書き、定められた期限までにCJLC事務室に3部提出しなければなりません。提出期限は学年暦で確認してください。修了論文提出後に口頭試問を行います。口頭試問についてはCJLC事務室の掲示板で確認してください。

自主研究トラック

科目種別		最低履修授業科目数(コマ数)			
		秋学期	春学期	小計	合計
必修科目	専門演習 ^{*A}	1	1	2	23
選択科目 ^{*B}	研修科目	6以上		21	
	研究科目 ^{*C*D}	6以上			

^{*A} 専門演習は「日本語・日本文化研究指導」を履修します。専門演習で指導を受けた自分の研究成果をレポートにまとめ、定められた期限までに CJLC 事務室に提出しなければなりません。提出期限は CJLC 事務室の掲示板で確認してください。

^{*B} 選択科目は、中級レベルと上級レベル以外に、初・中級レベルの科目からも履修することができます。研究コースの学生は、1年間で研修科目・研究科目を各々6科目以上履修しなければなりません。履修する科目内容については、プログラム別オリエンテーションや専門演習で指導を受けて決めてください。プレースメントテストの結果、必要と認められた学生は、指導教員の指導に従って、「現代日本語3」を適切な数、履修しなければなりません。

^{*C} これまでに日本語学や日本文化論についての基礎的な授業科目を履修したことがない学生は、指導教員の指導に従って、「日本語学入門」「日本語教育学入門」「日本文学入門」「日本文化入門」の中から適切なものを選んで履修してください。

^{*D} 文学部、人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部で春学期に開講される日本語・日本文化に関する講義科目のうち、CJLC が指定した科目を、最大2科目まで登録・履修し、研究科目として読み替えることができます。

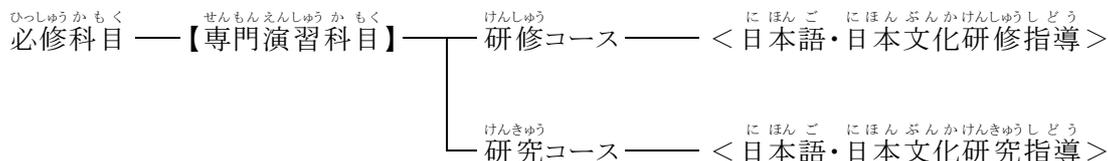
かいこうじゅぎょうかもく
B. 開講授業科目

しゅべつ 種別		かもく 科目コード	じゅぎょうかもく 授業科目	
必修科目	せんもん 専門	DR 480	にほんご にほんぶん かけんしゅうしどう 日本語・日本文化研修指導 [研修コース]	
	えんしゅう 演習	DR 480	にほんご にほんぶん かけんきゅうしどう 日本語・日本文化研究指導 [研究コース]	
選 択 科 目	けんしゅう 研修科目	MSPa/b	げんだい にほんご ちゅうきゅうぶんぼう 現代日本語3：中級文法 (共通)	
		JPN 310-318	にほんご じっしゅう ちゅうきゅうかいわ さくぶん どっかい どう 日本語実習3：中級会話・作文・読解・CAI等	
		JPN 410-418	にほんご じっしゅう じょうきゅうかいわ さくぶん どっかい どう 日本語実習4：上級会話・作文・読解・CAI等	
		GS X20.-	そうごうかもく じょうほうしよりじっしゅう 総合科目：情報処理実習	
	けん 研	こうぎ 講義	LIN 33X/43X	にほんご がくこうぎ 日本語学講義
			LIT 34X/44X	にほんぶんがくこうぎ 日本文学講義
			CUL 35X/45X	にほんぶん かこうぎ 日本文化講義
			SOC 36X/46X	にほんせいじ けいざいこうぎ 日本政治経済講義
	けん 研	えんしゅう 演習	LIN 33X/43X	にほんご がくえんしゅう 日本語学演習
			LIN 33X/43X	にほんご がくけんきゅう 日本語学研究
			LIT 34X/44X	にほんぶんがくえんしゅう 日本文学演習
			LIT 34X/44X	にほんぶんがくけんきゅう 日本文学研究
	けん 研	えんしゅう 演習	CUL 35X/45X	にほんぶんがくえんしゅう 日本文化演習
			CUL 35X/45X	にほんぶんがくけんきゅう 日本文化研究
			SOC 36X/46X	にほんせいじ けいざいえんしゅう 日本政治経済演習
			SOC 36X/46X	にほんせいじ けいざいけんきゅう 日本政治経済研究
	けん 研	えんしゅう 演習	SOC 36X/46X	にほんしゃかいえんしゅう 日本社会演習
			NAT 37X/47X	しぜんかがくえんしゅう 自然科学演習
しゅうりょうぶん 修了論文		けんきゅう るんぶんさくせい [研究コース・論文作成トラック]		

(共通) はMプログラムとの共通科目。
 ぶんがくぶ 人間科学部、にんげんがくぶ 法学部、けいざいがくぶ 経済学部、がいこくごがくぶ 外国語学部で春学期に開講される日本語・日本文化に関する講義科目のうち、CJLCが指定した科目を、最大2科目まで登録・履修し、研究科目として読み替えることができます。

ひっしゅう か も く じゅぎょう C. 必修科目授業

ひっしゅう か も く しゅべつ (1) 必修科目の種別



- (2) 【せんもんえんしゅう か も く 専門演習科目】は、せんたく がくせい せんたく 学生の選択したコースに従って < にほんご にほんぶんかけんしゅうしどう 日本語・日本文化研修指導 > < にほんご にほんぶんかけんきゅうしどう 日本語・日本文化研究指導 > に分かれます。コースせんたく がくせい もくてき きぼう そ おこな はる 9月のオリエンテーション時きぼう のコースをせんたく し、せんもんえんしゅう しどう う がつ ほる 1月に「春がつき とどけ がつき 学期コース届」を CJLC じむしつ ていしゆつ 事務局に提出し、せんもんえんしゅう かくてい いこう およ びせんもんえんしゅう へんこう げんそくてき みと 専門演習の変更は、原則的に認められません。

せんもんえんしゅうかもく 【専門演習科目】

DR 480.- にほんご にほんぶんかけんしゅうしどう 日本語・日本文化研修指導 [DR]

えんしゅう しゅうかん あ ぶん
演習： 1週間当たり1コマ(90分×1)

につけんせいけんしゅう がくせい せんもんえんしゅうかもく
日研究生研修コース学生のための専門演習科目。

ゲストスピーカーによるこうえんかい がっこうけんがく きぎょうけんがく きぎょうけんしゅう けんしゅうりょ 講演会、学校見学、企業見学、企業研修(インターンシップ)、研修旅行などさまざまながくないがい けんしゅう さんか じぜんけんしゅう じご とうぎ かつどう とお にほん 語のうんようのうりよく たか にほんご にほんぶんか にほんしゃかい ためんてき りかい ふか 運用能力を高め、日本語、日本文化、日本社会について他面的に理解を深める。コースしゅうりょうじ けんしゅうせいかにほんご ほうこく 修了時に研修成果を日本語でまとめ報告しなければならない。

DR 480.- にほんご にほんぶんかけんきゅうしどう
日本語・日本文化研究指導 [DR]

えんしゅう しゅうかん あ ぶん
演習： 1週間当たり1コマ(90分×1)

につけんせいけんきゅう がくせい せんもんえんしゅうかもく
日研究生研究コース学生のための専門演習科目。

にほんご にほんぶんか けんきゅう しゅ もくてき いったいいち こべつしどう しょうにんずう
日本語・日本文化についての研究を主たる目的とする。一対一の個別指導、または少人数グ

ループでの指導により、個々の学生の興味、関心、目的に応じた、きめ細かな学習指導を行う。

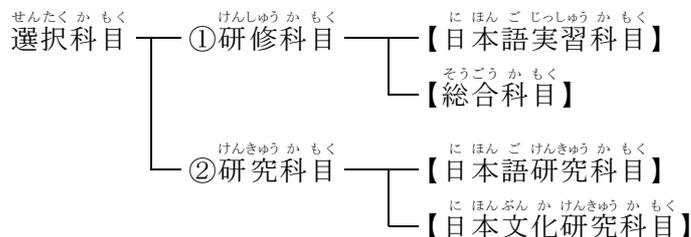
ろんぶんさくせい がくせい がつ しゅうりょうじ しゅうりょうろんぶん ていしゅつ こうとうしもん う ごうかく
論文作成トラックの学生は9月のコース修了時に修了論文を提出し、口頭試問を受けて合格

しなければならない。じしゅけんきゅう がくせい しゅうりょうじ けんきゅうせいか にほんご か
自主研究トラックの学生はコース修了時に研究成果を日本語で書いて

ほうこく
報告しなければならない。

D. 選択科目授業

(1) 選択科目の種別



(2) ① 研修科目には、実用的な日本語の能力を高めるための【日本語実習科目】や、勉強や研究が必要となる情報処理能力を身につけるための【総合科目】があります。初中級から上級まで、各日本語レベルの授業科目が開講されており、学生はそこから自分の目的や日本語能力に合わせて科目を選択することができます。

(3) ② 研究科目は、日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や方法論を身につけるための科目です。【日本語研究科目】には、日本語を言語学的視点から捉える科目や、日本語を教えるために必要な知識を学ぶ科目があります。【日本文化研究科目】には、日本における思想や民俗、日本文学など人文科学系の分野を扱う人文科学系の科目と、日本の政治や経済などを扱う社会科学系の科目があります。

(4) 全ての授業には、その科目の日本語レベルや分野などを示す、科目コードが付けられています。コード番号を利用し、『授業案内』を参考にして、自分に合った授業を選択してください。

【科目コード番号】

日本語初級レベル	100.x -
日本語初中級レベル	200.x -
日本語中級レベル	300.x -
日本語上級レベル	400.x -



※ 科目コード番号に関する詳細は79頁参照のこと

けんしゅうか もくじゅぎょう
D-①. 研修科目授業

にほんごじっしゅうか もく
【日本語実習科目】

だいがく けんきゅう しゃかいせいいかつ ひつよう にほんごのうりよく こうじょう き はな よ か ぎのう
大学での研究や社会生活に必要な日本語能力を向上させる。「聞く・話す・読む・書く」の4技能
にわたって実用的な日本語能力を高める。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅうぶんぼう
JPN 310.- 日本語実習3A: 中級文法

ちゅうきゅう かくしゅうしゃ ごい ぶんぼうのうりよく たか にちじょうせいいかつ もち ひょうげん なか かくしゅうしゃ
中級レベルの学習者の語彙・文法能力を高める。日常生活でよく用いられる表現の中から、学習者が
まちが こうもく じゅうてんてき と あ
間違いやすい項目を重点的に取り上げる。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅうかんじ
JPN 313.- 日本語実習3B: 中級漢字

きょういくかんじ やく じ きょういくかんじ もち ごい たいけいてき かくしゅう おこな よ いみ じけい
教育漢字(約1,000字)および教育漢字を用いた語彙について体系的な学習を行う。読み・意味・字形
・なりたち ようほう かんじ たいけいてき まな
・なりたち・用法などから漢字を体系的に学ぶ。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅうどっかい
JPN 314.- 日本語実習3C: 中級読解

ちゅうきゅう かくしゅうしゃ どっかいのうりよく たか ぶんしやうぜんたい こうぞう かんが ぶんせきてき よ れんしゅう おこな
中級レベルの学習者の読解能力を高める。文章全体の構造を考 えながら分析的に読む練習を行
い、読む能力と語彙力を高める(約5,000語)。読む目的に合わせて読み方を変える練習なども行う。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅうさくぶん
JPN 315.- 日本語実習3D: 中級作文

ちゅうきゅう かくしゅうしゃ さくぶん のうりよく たか でんごん てがみ ぐたいてき にちじょうてき ぼめん さくぶん
中級レベルの学習者の作文能力を高める。伝言メモ、手紙など具体的で日常的な場面での作文の
じゅぎょう いっぽんてき もんだい しょうろんぶん さくせい てんさく じゅぎょう ようやくぶんさくせい てんさく じゅぎょう ほんやく
授業、より一般的な問題をテーマにした小論文の作成・添削の授業、要約文作成・添削の授業、翻訳
の練習の授業などが提供される。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅうちやうかい
JPN 316.- 日本語実習3E: 中級聴解

ちゅうきゅう にほんごのうりよく こうじょう めざ えいが ぼんぐみ きょうざい ちやうかい
中級レベルの日本語能力の向上を目指す。映画・ドラマ・ニュース番組などを教材にして、聴解の
のうりよく たか
能力を高める。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅうかいわ
JPN 317.- 日本語実習3F: 中級会話

ちゅうきゅう かくしゅうしゃ はな のうりよく たか かくしゅう たんご ぶんぼう つか せいやく はな れんしゅう
中級レベルの学習者の話す能力を高める。すでに学習した単語・文法を使って正確に話す練習を
する授業、映画・テレビコマーシャル・ドラマ・ニュース番組などを使ってさまざまな表現を学びながら
げんだい にほんしゃかい かんが じゅぎょう だいがくせいいかつ ひつよう こうとうひょうげん まな じゅぎょう つうやく じゅぎょう
現代の日本社会について考える授業、大学生活に必要な口頭表現を学ぶ授業、通訳の授業などが
ていきやう はつおんきやうせい じゅぎょう にほんご おんせい たいけいてき りかい じゅっさい はつわ なか
提供される。発音矯正の授業では日本語の音声について体系的に理解し、また実際の発話の中で
こ こ おと へんか ちしき ふか じゅこうせい も はつおんじやう もんだいてん
個々の音がどのように変化するかについての知識を深める。さらに受講生が持つ発音上の問題点を
してき かいしやう じっせんてき おこな
指摘し、その解消のための実践的なトレーニングを行う。

にほんごじっしゅう ちゅうきゅう
JPN 318.- 日本語実習3G: 中級CAI

りやう ちゅうきゅう にほんごどっかい ちやうかい さくぶん のうりよく たか じやうほう あつ
コンピュータを利用して中級レベルの日本語読解・聴解・作文能力を高める。コンピュータを情報を集
めるために利用したり、日本語学習を進めるために活用する方法論を学習し、自律的に日本語が学習
りやう にほんご かくしゅう すず かつやう ほうほうろん かくしゅう じりつてき にほんご かくしゅう
できる能力を身につける。

JPN 410.- **日本語実習 4A: 上級文法**
 上級レベルの学習者の語彙・文法能力の向上を目標とする。位相についてなど、日本語のバリエーションについて学習することができる。

JPN 413.- **日本語実習 4B: 漢字研究**
 常用漢字(約2,000字)および常用漢字を用いた語彙について体系的な学習を行う。読み・意味・用法などから漢字を研究する授業、日常生活で有用な実用性の高い漢字語彙を学習する実用漢字研究の授業、漢字音を研究する授業、日本での漢字受容について考察する授業などが提供される。

JPN 414.- **日本語実習 4C: 上級読解**
 上級レベルの学習者の読解能力を高める。さまざまなジャンルの文章を読み、文章全体の構造を考
 えながら分析的に読む練習を行う。読む目的に合わせて読み方を変える練習なども行い、読む能力
 と語彙力を高める(約8,000語)。

JPN 415.- **日本語実習 4D: 上級作文**
 大学での研究生活に必要な作文能力の向上を目標とする。一般的な問題をテーマにして文章作成の
 方法論を学ぶ授業「文章作成法」、要約文作成・添削の授業「上級作文」、翻訳の練習の授業「英文
 和訳法」、日本語で論文を作成する授業「レポート・論文作成法」などが提供される。

JPN 416.- **日本語実習 4E: 上級聴解**
 上級レベルの日本語能力の向上を目指す。映画・ドラマ・ニュース番組・大学の講義などを教材にして
 聴解の能力を高める。

JPN 417.- **日本語実習 4F: 上級会話**
 大学での研究生活に必要な会話能力の向上を目標とする。日本語のバリエーションに留意しながら
 使用場面に適した表現を用いて話す練習をする授業、映画、ドラマ、ニュース番組等を教材にして
 現代の日本社会についての知識とともにさまざまな表現を学ぶ授業、講義の聴解や討論への参加な
 ど大学での研究生活に必要な会話能力を身につける授業、通訳の授業などが提供される。発音矯正
 の授業では、日本語の音声について体系的に理解し、また実際の発話の中で個々の音がどのように
 変化するかについての知識を深める。さらに受講生が持つ発音上の問題点を指摘し、その解消のため
 の実践的なトレーニングを行う。

JPN 418.- **日本語実習 4G: 上級CAI コンピュータによる日本語実習**
 コンピュータを利用して、上級レベルの日本語読解・聴解・作文能力の向上を目指す。コンピュータを
 情報の供給媒体あるいは学習支援者とするための方法論を学習し、自律的な日本語学習を可能にす
 る能力を身につける。ワープロ、インターネット等の取り扱いについても触れる。

※ 上記科目以外に Level 200(初 中 級レベル)の授業科目を選択することができます。履修については指導
 教員にアドバイスを受けてください。

GS X20.- 情報処理実習： 情報リテラシー

日本語・日本文化の学習や研究に不可欠な、情報処理の基本的な方法について学ぶ。特に、情報の収集・加工・発信のプロセスについて学習する。

GS X20.- 情報処理実習： 統計処理実習

社会調査の基礎的な方法論、及び、採集したデータの処理方法について学ぶ。特に、アンケート作成と調査の具体的な手順、採集したデータの処理、処理されたデータの提示方法などが扱われる。

D-②. けんきゅうか もくじゅぎょう 研究科目授業

【日本語研究科目】

げんごがくできかんてん にほんご さまざま とくちょう こうさつ しょうらい にほんご きょういく じゅうじ もの ゆうよう
言語学的観点から日本語の様々な特徴を考察する。将来、日本語教育に従事する者に有用な
じっさいてき ちしき み
実証的な知識を身につけることもできる。

§ にほんご がくこうぎ 日本語学講義

にほんご たいしやう けんきゅう おこな ひつやう ちしき ていきやう こうぎじゅぎょう にほんご がく こくごがく にほんご きょういくがく
日本語を対象とした研究を行うのに必要な知識を提供する講義授業。日本語学、国語学、日本語教育学
など、日本語に関連した分野の研究を概観し、研究課題や研究方法などをわかりやすく解説する。

LIN 330.- にほんご がくこうぎ にほんご がくにゆうもん 日本語学講義：日本語学入門

にほんご さまざま そくめん まな ぐたいてき げんしやう れい と あ にほんご がく きほんてき かんが
日本語の様々な側面について学ぶ。具体的な現象や例を取り上げながら、日本語学の基本的な考
え方や分析方法について概説する。

LIN 330.- にほんご がくこうぎ にほんご きょういくがくにゆうもん 日本語学講義：日本語教育学入門

にほんご きょういく かんてん にほんご とくちょう ひつやう こうさつ きやうじゅほう きやういくじやう もんだいてん きやうざい
日本語教育の観点から日本語の特徴について考察し、その教授法や教育上の問題点、教材などについて概説する。

§ にほんご がくえんしゅう 日本語学演習

にほんご たいしやう けんきゅう おこな ひつやう にほんご のうりよく やしな ぶんけんこうどく はっぴやう とお
日本語を対象とした研究を行うのに必要な日本語能力を養うだけでなく、文献講読や発表などを通して
日本語についての知識を深め、文献の扱い方や研究の方法などについても学ぶ。

LIN 331.- にほんご がくえんしゅう げんごがくえんしゅう 日本語学演習：言語学演習

にほんご たいしやう けんきゅう おこな ひつやう げんごがく き そてき がいねん ようご まな
日本語を対象とした研究を行うために必要な言語学の基礎的な概念や用語などを学ぶ。

LIN 434.- にほんご がくえんしゅう こてん ぶんぼう 日本語学演習：古典文法

かくじだい 古典 ぶんがくさくひん ぶんぼうてきかしやく とお こてん ぶんぼう まな こぶんどっかい き そ
各時代の古典文学作品をとりあげ、テキストの文法的解釈を通して古典文法を学び、古文読解の基礎
的学力を養う。

§ にほんご がくけんきゅう 日本語学研究

にほんご たいしやう けんきゅう と あ はっぴやう とうろん とお こうさつ ふか にほんご がくこうぎ にほんご がく
日本語を対象とした研究を取り上げ、発表や討論を通して考察を深める。「日本語学講義」「日本語学
演習」を履修していることが望ましい。

LIN 431.- にほんご がくけんきゅう にほんご がく 日本語学研究：日本語学

げんごがくでき ちしき み にほんご かん か けんきゅうしや ろんぶん よ にほんご とくちょう
言語学的な知識を身につけながら、日本語に関して書かれた研究書・論文などを読み、日本語の特徴
について考える。音声学・音韻論、形態論・統語論、語用論・意味論や、対照言語学、社会言語学な
ど様々な観点からの授業が提供される。

LIN 432.- にほんご がくけんきゅう こくごがくけんきゅう 日本語学研究：国語学研究

にほんご にほんご こくご けんきゅう れきし にほんご れきしてきへんせん にほんご ほんしつてき
日本における日本語(国語)研究の歴史をたどりながら、日本語の歴史の変遷や日本語の本質的な
特徴、日本人の言語観などについて考える。

LIN 433.- にほんご がくけんきゅう にほんご きょういくがく 日本語学研究：日本語教育学

きやうじゅほう ひやうかほう きやうざいろん しゅうとくろん にほんご きょういくがく ぶんや おこな けんきゅう と あ
教授法、評価法、教材論、習得論など、日本語教育学の分野で行われている研究を取り上げながら、
日本語教育における教育上の問題点や方法論などを考える。

にほんぶんかけんきゅうかもく
【日本文化研究科目】

じんぶんかがく
〈人文科学〉

にほんにおける思想・民俗・芸術、日本の歴史、および日本文学に関するトピックを取り上げ、日本の文化的側面についての包括的な理解を深める。

にほんぶんがくこうぎ にほんぶんかこうぎ
§ 日本文学講義・日本文化講義

にほんぶんがく にほんぶんか たいしやう けんきゅう おこな ひつよう ちしき ていきやう こうぎじゆぎやう ぶんがくし ぶんかし
日本文学・日本文化を対象とした研究を行うのに必要な知識を提供する講義授業。文学史、文化史、
にほんぶんかろん にほんぶんがく にほんぶんか がいかん とくちやう れきしてきへんせん けんきゅうかだい
日本文化論など、日本文学・日本文化を概観しながら、その特徴や歴史の変遷、研究課題などをわかりやすく解説する。

LIT 340.- にほんぶんがくこうぎ にほんぶんがくにゆうもん
日本文学講義： 日本文学入門

にほんぶんがく れきし がいかん かくじだいごと さくひん う へんせん と
日本文学の歴史を概観する。各時代毎にどのようなジャンルや作品が生まれて変遷を遂げていったかを、それぞれの時代背景を踏まえつつ学ぶ。

CUL 351.- にほんぶんかこうぎ にほんしそうしゆうきやう
日本文化講義： 日本の思想と宗教

にほんしそうしゆうきやう がいかん こだい げんだい いた きまざま しそうしゆうきやう しりゆうは
日本の思想と宗教について概観する。古代から現代に至る様々な思想、宗教とその諸流派についての基本的な知識を提供し、また、代表的な思想家、宗教家を取り上げその特質を解説する。

CUL 352.- にほんぶんかこうぎ にほんぶんかにゆうもん
日本文化講義： 日本文化入門

めいじいこう わくに ちしきじん なんびやく う にほんぶんかろん ちよめい すうてん
明治以降、我が国の知識人によって何百となく生みだされてきた「日本文化論」のうち、著名な数点を
とあ ひはんでき けんとう にほんぶんか そうしやう とくちやう あき
取り上げ批判的に検討することで、「日本文化」と総称されるものの特徴を明らかにする。

にほんぶんがくえんしゆう にほんぶんかえんしゆう
§ 日本文学演習・日本文化演習

にほんぶんがく にほんぶんか たいしやう けんきゅう おこな ひつよう にほんごのうりやく やしな ぶんけんこうどく はつびやう
日本文学・日本文化を対象とした研究を行うのに必要な日本語能力を養うだけでなく、文献講読や発表
とあ にほんぶんがく にほんぶんか ちしき ふか ぶんけん あつか かた けんきゅう ほうほう まな
などを通して日本文学・日本文化についての知識を深め、文献の扱い方や研究の方法などについても学ぶ。

LIT 341.- にほんぶんがくえんしゆう きんげんだいぶんがくこうどく
日本文学演習： 近現代文学講読

きんげんだい めいじいしん いこう か だいひやうてき たんべんしやうせつ すいひつ し よ さくひん
近現代 — 明治維新(1868)以降 — に書かれた代表的な短編小説・随筆・詩などを読み、その作品
はいけい ひやうげんじやう まな じゆぎやう げんだい だいひやうてき さつか さくひん ぶんがくひやうろん
の背景や表現上のレトリックなどを学ぶ授業や、現代の代表的な作家の作品や文学評論などをテキストとしてとりあげ、戦後の日本の社会状況や文学的な表現について学ぶ授業などが提供される。

LIT 344.- にほんぶんがくえんしゆう にほんでんとうげいのう
日本文学演習： 日本の伝統芸能

のう きやうげん かぶき ぶんちく こうだん ちやくご にほん だいひやうてき でんとうげいのう まな ぶんけん こうどく
能・狂言・歌舞伎・文楽・講談・落語など、日本の代表的な伝統芸能について学ぶ。文献講読や、
しちやうかく きやうざい かんしやう じつえんかんしやう く あ せいりつ かてい ようしき とくしやく りかい
視聴覚教材による鑑賞、実演鑑賞などを組み合わせ、その成立過程、様式、特色などについて理解を深める。

LIT 443.- にほんぶんがくえんしゅう こてんぶんがくこうどく
日本文学演習IV: 古典文学講読

かくじだい こてんぶんがく さくひん げんぶん せいどく さくひん はいけいちしき ていきょう こご かいしゃく おこな
各時代の古典文学の作品をとりあげ原文を精読する。作品の背景知識を提供し、古語の解釈を行いながら、さくひん なか あらわ にほんぶんか にほんぶんがく しよもんだい こうさつ
作品中に現れる日本文化・日本文学の諸問題について考察する。

LIT 445.- にほんぶんがくえんしゅう かんぶんにゅうもん
日本文学演習: 漢文入門

たんぶん みじか ぶんしょう かんぶん か よ すす かんぶんくんどく ほうほう まな かんぶん
単文から短い文章へと漢文で書かれたテキストを読み進めながら、漢文訓読の方法を学び、漢文
どっかい き そてきがりよく やしな じゅぎょう にほんぶんか なか かんぶん せかい しや ひろ
読解の基礎的学力を養う授業。日本文化の中における漢文の世界についても視野を広げる。

CUL 450.- にほんぶんかえんしゅう にほんげいじゆつ
日本文化演習: 日本の芸術

にほんご か こうどく げいじゆつ しよもんだい かんが とあ
日本語で書かれたテキストを講読しながら、芸術の諸問題について考える。取り上げるトピックについ
さいしよ じゅぎょう せつめい
ては、最初の授業で説明する。

CUL 454.- にほんぶんかえんしゅう にほんれきし
日本文化演習: 日本の歴史

こうどく とお にほんれきし しよもんだい こうさつ とあ じだい
テキスト講読を通して、日本の歴史における諸問題を考察する。取り上げる時代やトピックについては、
さいしよ じゅぎょう せつめい
最初の授業で説明する。

§ 日本文学研究・日本文化研究

にほんぶんがく にほんぶんか たいしよ けんきゅう とあ ほっぴょう とうろん とお こうさつ ふか にほんぶんがくこうぎ
日本文学・日本文化を対象とした研究を取り上げ、発表や討論を通して考察を深める。「日本文学講義」
にほんぶんかこうぎ にほんぶんがくえんしゅう にほんぶんかえんしゅう りしゅう のぞ
「日本文化講義」「日本文学演習」「日本文化演習」を履修していることが望ましい。

LIT 442.- にほんぶんがくけんきゅう さつか さくひんけんきゅう
日本文学研究: 作家・作品研究

だいひょうてき ぶんがくさくひん さつか とあ ぶんがくひょうろん りょう
さまざまなジャンルの代表的な文学作品や作家を取り上げ、文学評論などを利用しながら、テキストが
か はいけい ひょうげんじょう ぶんがくちやうりゅう よ さつか さくひん けんきゅうほうほう
書かれた背景や表現上のレトリックおよび文学潮流などを読み解く。作家・作品の研究方法について
まな
も学ぶことができる。

LIT 442.- にほんぶんがくけんきゅう ひかくぶんがくけんきゅう
日本文学研究: 比較文学研究

にほんぶんがくさくひん しよがいこく ぶんがくさくひん ぶんがくりろんじょう してん ぶんせき りやうしや ひかくけんきゅう
日本の文学作品と諸外国の文学作品を文学理論上のさまざまな視点から分析し、両者を比較研究す
こ さくひんどうし ちやくせつてき かんせつてき えいさうかんけい こうさつ たいしよ けんきゅう
る。また、個々の作品同士の直接的、間接的な影響関係を考察の対象として研究する。

LIT 444.- にほんぶんがくけんきゅう にほんこてんぶんがくけんきゅう
日本文学研究: 日本古典文学研究

かくじだい さくひん ふ にほんこてんぶんがく ちやうさ けんきゅう きそちしき み
各時代の作品に触れながら、日本の古典文学について調査・研究するための基礎知識を身につけ、
うえ ほんぶんかいしゃく さくひんぶんせき さくしやけんきゅうなど けんきゅう ふ かけつ せんもん ちしき しゅうどく
その上で、本文解釈・作品分析・作者研究等、それぞれの研究に不可欠な専門知識を習得する。

CUL 451.- にほんぶんかけんきゅう みんぞくがくけんきゅう
日本文化研究: 民俗学研究

にほんじん みんかんしんこう ぎらい まな
日本人の民間信仰および儀礼について学ぶ。

CUL 452.- にほんぶんかけんきゅう にほんぶんかけんきゅう
日本文化研究: 日本文化研究

にほんぶんか かん とくてい わだい とあ こうどく しりょう ぶんせき じつちやうさ つう
日本文化に関する特定の話題を取り上げ、テキストの講読、資料の分析、実地調査などを通じて、その
けんきゅう ほうほう まな とあ わだい さいしよ じゅぎょう せつめい
研究の方法を学ぶ。取り上げる話題については、最初の授業で説明する。

しゃかい がく
〈社会科学〉

にほん せいじ けいざい もんだいてん にほんてきけい えい とくちよう こうさつ どうじ けいざいようご
日本の政治・経済についての問題点や日本の経営の特徴について考察する。同時に、経済用語
ほうりつようご ちしき りかい ふか しやうらい にほん かんれん しょくぎよう じゆうじ もの ゆうえき
や法律用語についての知識と理解を深める。将来、日本に関連した職業に従事する者に有益な
じっさいてき ちしき み
実践的な知識を身につけることもできる。

にほん せいじけいざいこうぎ
§ 日本政治経済講義

にほん せいじけいざい たいしやう けんきゆう おこな ひつよう ちしき ていきやう こうぎじゆぎやう にほん せいじけいざい かか しょ
日本政治経済を対象とした研究を行うのに必要な知識を提供する講義授業。日本政治経済に関わる諸
ぶんや がいせつ にほん せいじ けいざい けいえい とくちよう れきしてきへんせん けんきゆうかだい
分野について概説しながら、日本政治、経済、経営の特徴や歴史的変遷、研究課題などをわかりやすく
かいせつ
解説する。

SOC 460.- にほん せいじけいざいこうぎ にほん けいざい
日本政治経済講義： 日本の経済

にほん けいざい とくちよう がいせつ けいき ざいせい きんゆう にほん けいざい しゃかい しょもんだい こうさつ
日本経済の特徴について概説する。景気、財政、金融など日本経済と社会についての諸問題を考察
する。時事日本語、経済用語についても学習する。

にほん せいじけいざいせんしゆう にほん しゃかいせんしゆう
§ 日本政治経済演習・日本社会演習

にほん せいじけいざい にほん しゃかい たいしやう けんきゆう おこな ひつよう にほん ご のうりやく やしな ぶんけんこうどく
日本政治経済、日本社会を対象とした研究を行うのに必要な日本語能力を養うだけでなく、文献講読や
はっぴやう とお にほん せいじけいざい にほん しゃかい ちしき ふか しりやう あつか かた けんきゆう ほうほう
発表などを通して日本政治経済、日本社会についての知識を深め、資料の扱い方や研究の方法などに
まな
についても学ぶ。

SOC 462.- にほん せいじけいざいせんしゆう せいじがく
日本政治経済演習： 政治学

にほん ご か こうどく にほん せいじ しょもんだい こうさつ
日本語で書かれたテキストを講読しながら、日本の政治の諸問題について考察する。

SOC 365.- にほん しゃかいせんしゆう にほん しゃかい きやういく
日本社会演習： 日本の社会と教育

しんぶん ざっしき じ だいがい こうどく おこな げんざい にほん きやういく しゃかいもんだい かいせつ
新聞・雑誌記事などを題材にテキスト講読を行い、現在の日本の教育や社会問題について解説する。

にほん せいじけいざいけんきゆう
§ 日本政治経済研究

にほん せいじけいざい たいしやう けんきゆう と あ はっぴやう とうろん とお こうさつ ふか にほん せいじけいざいこうぎ
日本政治経済を対象とした研究を取り上げ、発表や討論を通して考察を深める。「日本政治経済講義」
「にほん せいじけいざいせんしゆう にほん しゃかいせんしゆう りしゆう のぞ
「日本政治経済演習」「日本社会演習」を履修していることが望ましい。

SOC 363.- にほん せいじけいざいけんきゆう こくさいかんけいろん
日本政治経済研究： 国際関係論

にほん ご か こうどく こくさいかんけい しょもんだい こうさつ
日本語で書かれたテキストを講読しながら、国際関係の諸問題について考察する。

しよかつどうけんしゅう E. 諸活動研修

にほんご にほんぶんか にほんしゃかい りかい ふか い か きょうしつがい さまざま
日本語、日本文化、日本社会についての理解を深めるために、以下のような教室外の様々な
かつどう さんか
活動に参加してください。

- (1) ホストファミリー・プログラムや箕面市主催の行事(書道、生け花、茶道等)に参加することができます。
- (2) 日本の伝統芸能などの鑑賞を通して、日本文化に対する理解を深めます。歌舞伎、文楽、
たからづかかけき かんしょうかい けいかく
宝塚歌劇などの鑑賞会を計画しています。
- (3) 名所等を見学し、日本の文化、産業に対する理解を深めることを目的として、日研生の研修
りょこう けいかく
旅行を計画しています。
- (4) このほか、いろいろな活動があります。くわしいことは CJLC 事務室前の掲示板に掲示しますので、よく見るようにしてください。

がくぶりゅうがくせい 学部留学生プログラム [U]

がくぶりゅうがくせい 学部留学生プログラムは、にほん だいがく がくぶきょういく う こくひ がくぶりゅうがくせい たいしょう ねんかん 日本^の大学^で学部教育^{を受け}る国費学部留学生^{を対象}とした1年間^の予備教育プログラム^{です}。だいがく べんがく ひつよう ちしき こうど にほんごのうりよく ぎのう み 大学^{での}勉強^{に必要な}知識^と高度な日本語能力^や技能^を身につけることを目的^{として}います。

プログラムは専攻分野^{によって}、「ぶんかけい 文科系コース」と「りかけい 理科系コース」の2つに分かれます。こくひ がくぶりゅうがくせい 国費学部留学生^{にとっては}、このプログラム^で学び、まな しよてい かにてい しゅうりょう にほんせいふしょう 学定^の課程^を修了^{することが}、日本^{政府}奨学金留学生^{として}日本^の大学^で学ぶための前提条件^{です}。

ぶんかけい ぶんけい 1. 文科系コース [文系 U]

じんぶん しゃかいかがくけいぶんや せんこう がくせい にほんご じゅぎょう しょきゅう ちゅうきゅう 人文・社会科学系分野^を専攻^{する}学生^{のための}コース^{です}。にほんごの授業^{では}初級^{から}中級[、]じょうきゅう じゅんじょ がくしゅう すず がくしゅう かいし がくせい がつじてん にほんご 上級^{という}順序^で学習^{を進めて}いきます。学習^{を開始}するレベル^は学生^の4月時点^の日本語レベル^におう か ぶんかけい にほんご にほんじじょうかもくいがい せいじ けいざい にほんご 史^{」などの}科目^を修得^{しなければ}なりません。

りかけい りけい 2. 理科系コース [理系 U]

しぜんかがくけいぶんや せんこう がくせい にほんご じゅぎょう しょきゅう ちゅうきゅうじょうきゅう 自然科学系分野^を専攻^{する}学生^{のための}コース^{です}。にほんごの授業^{では}初級^{から}中級[、]じゅんじょ がくしゅう すず がくしゅう かいし がくせい がつじてん にほんご 上級^{という}順序^で学習^{を進めて}いきます。学習^{を開始}するレベル^は学生^の4月時点^の日本語レベル^におう か ぶんかけい にほんご にほんじじょうかもくいがい すうがく ぶつり かがく せい 物^{」などの}科目^を修得^{しなければ}なりません。

A. プログラムの修了要件^{しゅうりょうようけん}

- (1) 全ての必修科目を修得しなければなりません。
すべ ひつしゅうか もく しゅうとく
- (2) 授業への出席率は80%以上でなければなりません。
じゅぎょう しゅつせきりつ いじょう
- (3) 全ての学生は、4月に実施される「英語プレースメント試験」を受けなければなりません。試験の結果、必要と認められた者は、「英語科目」を1科目選択履修しなければなりません。
すべ がくせい がつ じっし えいご しけん う しけん けっか ひつよう みと もの えいご かもく かもくせんたくりしゅう
- (4) 経済学または経営学を専攻希望する学生は、文科系コースで開講されている「数学」を修得しなければなりません。
けいざいがく けいえいがく せんこうきぼう がくせい ぶんかけい かいこう すうがく しゅうとく
- (5) 9月・12月・3月に定期試験が行われます。全ての学生は定期試験を受けなければなりません。試験は全科目について行われます。試験期間は学年暦で確認してください。
がつ がつ がつ ていきしけん おこな すべ がくせい ていきしけん う しけん ぜんかもく おこな しけんきかん がくねんれき かくにん
ていきしけん さいていごうかくてん てん
定期試験の最低合格点は60点です。

ぶんかけい ぶんけい
1. 文科系コース [文系U]

しゅべつ 種別	じゅぎょうかもく 授業科目		さいていりしゅうじゅぎょうかもくすう 最低履修授業科目数(コマ数)			
ひつしゅうかもく 必修科目	にほんごかもく 日本語科目	げんだいにほんご 現代日本語*	SP	10	11	16 19
		しよきゅう ちゅうきゅう じょうきゅう (初級/中級/上級)				
		かいわ 会話	CONV	1		
	にほんじじょう 日本事情		JC	1		
	せいじけいざい 政治・経済		POLI	2		
	にほんし 日本史	HIST	2			
せんたくかもく 選択科目**	ぶんけいすうがく 文系数学		MATH	2		
	えいご 英語		ENG	1		

げんだいにほんご
*現代日本語について

- しよきゅうにほんご ちゅうきゅうにほんご じょうきゅうにほんご がくしゅうすす がくしゅうかいし がくせい
(1) 初級日本語→中級日本語→上級日本語と学習を進めます。学習を開始するレベルは学生の4月時点の日本語レベルに応じて変わります。
- じょうきゅうにほんご いか かもく ふく じょうきゅうぶんぼう じょうきゅうかんじ じょうきゅうどっかい
(2) 上級日本語には以下の科目が含まれます: 上級文法 (SP)、上級漢字 (K)、上級読解 (RDG)、上級作文 (COMP)・論文、聴解 (LIS)・講義、演習
- ぶ こぶん かんぶん まな いちぶ にほんごかもく せんたくひつしゅうかもく
(3) 一部のクラスでは古文、漢文も学びます。また、一部の日本語科目は選択必修科目となり、指導教員の許可があれば、日本語・日本文化研修留学生プログラム ([J]プログラム) の選択科目をそれに含めることができます。

あきがつき がつ がつ しどうきょういん きよか にほんご にほんぶんか けんしゅうりゅうがくせい
**秋学期 (10 月～3月) は、指導教員の許可があれば、日本語・日本文化研修留学生プログラム ([J]プログラム) の選択科目を履修することができます。

2. 理科系コース [理系 U]

しゅべつ 種別	じゅぎょうかもく 授業科目			さいていりしゅうじゅぎょうかもくすう 最低履修授業科目数(コマ数)		
ひつしゅうかもく 必修科目	にほんごかもく 日本語科目	げんだいにほんご 現代日本語*	SP	10	11	18 19
		しよきゅうちゅうきゅうじょうきゅう (初級/中級/上級)				
		かいわ 会話	CONV	1		
	にほんしじょう 日本事情		JC	1		
	りけいすうがく 理系数学		MATH	2		
	かがく 化学	CHEM	2			
せんたく 選択 必修科目	ぶつり 物理	PHYS	2			
	せいぶつ 生物	BIOL	2			
せんたくかもく 選択科目**	えいご 英語	ENG	1			

げんだいにほんご
*現代日本語について

- (1) 初級日本語→中級日本語→上級日本語と学習を進めます。学習を開始するレベルは学生の4月時点の日本語レベルに応じて変わります。
- (2) 上級日本語には以下の科目が含まれます：上級文法（SP）、上級漢字（K）、上級読解（RDG）、上級作文（COMP）・論文、聴解（LIS）・講義、演習
- (3) 一部のクラスでは古文、漢文も学びます。また、一部の日本語科目は選択必修科目となり、指導教員の許可があれば、日本語・日本文化研修留学生プログラム([J]プログラム)の選択科目をそれに含めることができます。

**秋学期（10月～3月）は、指導教員の許可があれば、日本語・日本文化研修留学生プログラム([J]プログラム)の選択科目を履修することができます。

必修科目授業

【日本語科目】

会話 [CONV]

1週間当たり1コマ(90分×1)

特に「話す」「聞く」能力の向上に重点を置き、大学生活での会話能力全般の向上を図る。

初級日本語 [SP]

1週間当たり10コマ(90分×10)

ひらがな・かたかなについての入門的な授業を受講していることが履修の条件となっている。読解、聴解、口述、作文を通して、現代日本語の基本文型(約200)や語彙(約4,000語)とともに、現代日本語の基本的な正書法と漢字(約600字)、表現を学ぶ。各課終了ごとに、授業で学んだ語彙・表現・漢字などを問う小テストを行う。

中級日本語 [SP]

1週間当たり10コマ(90分×10)

現代日本語の基本文型(約250)や語彙(約5,000語)の意味、機能、使い分けなどを学ぶ。書き言葉の読解及び作文を重視し、より高度な日本語を身につけることを目指す。各課終了ごとに、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。

じょうきゅうにほんご
上級日本語 [SP]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり10コマ(90分×10)

ぶんぽう
・文法

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

たよう ぶんぽうこうもく ごこうぞう まな ごいりよく どころいりよくこうじょう ちしき やしな しんぶん しょうせつ
多様な文法項目、語構造を学び、語彙力、読解力向上のための知識を養う。新聞や小説などの
だいざい ぶんぽうてき ちしき じっせんてき おうよう まな とく じっさい にほんご み かんようひょうげん
の題材をもとに、文法的な知識の実践的な応用を学ぶ。特に、実際の日本語に見られる慣用表現、
ちゅうしん がくしゅう
イディオムなどを中心に学習する。

おも しょうきょうかしよ じょうきゅうにほんご だい はん
主な使用教科書：『上級日本語 第二版』（CJLC, 2001）

かんじ
・漢字

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

かんじ こうぞう かんじごい ちしき ふか とく かんじごい こうせい にんしき
漢字の構造や漢字語彙についての知識を深める。特に、(1)漢字語彙の構成パターンを認識する、
しよきゅう ちゅうきゅう がくしゅう かんじごい おぼ かんじ よ かた おぼ
(2)初級や中級で学習しなかった漢字語彙をまとめて覚える、(3)漢字の読み方のルールを覚え
る、の3点を中心に学習する。漢字の読み書きの練習と小テストを通して、常用漢字2000字の
てん ちゅうしん がくしゅう かんじ よ か れんしゅう しょう とお じょうようかんじ じ
ていちゃく
定着をはかる。

どっかい
・読解

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

だいがくせいかつ ひつよう じっせんてき そくどくのうりよく こうじょう はか ひょうろん さまざま だいざい あつか
大学生活で必要となる実践的な速読能力の向上を図る。エッセイ、評論など、様々な題材を扱い、
たよう ぶんや かん ちよじゅつ せいどく たどく とお どころいりよく こうじょう
多様な分野に関する著述の精読、多読を通して読解能力の向上をはかる。

ちようかい
聴解 [LIS]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

みみ え たしゅたよう じょうほう ひつよう ないよう てきかく と だ きじゅつ のうりよく こうじょう はか
耳から得た多種多様な情報から必要な内容だけを的確に取り出し、記述できる能力の向上を図る。

こうぎ
・講義

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1～2コマ(90分×1～2)

だいがく ひつよう こうぎ き のうりよく み とく にほんじん がくせい たいしゅう
大学で必要となる講義を聞く能力を身につける。特に、(1)日本人学生を対象としたナチュラルス
ピードで 行われる講義および演習授業での口頭発表を聞き取る、(2)講義を聞いて、必要な情報
おこな こうぎ えんしゅうじゅぎょう こうとうはつびょう き と こうぎ き ひつよう じょうほう
をノートに書き取る、(3)ノートに書き取った情報をもとに試験問題の問いに答える、の3点につい
か と か と じょうほう しけんもんだい と こた てん
て学習を行う。

おも しょうきょうかしよ こうぎちようかいもんだいしゅう
主な使用教科書：『講義聴解問題集』（CJLC, 2004）

ろんぶん
・論文

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

だいがく ひつよう にほんご ろんぶん さくせい きそてき のうりよく み かくがくせい
大学で必要となる日本語による論文・レポートの作成のための基礎的な能力を身につける。各学生
がテーマを決めて論文を作成する過程で、論文・レポートの文体と構成を中心に学習する。

えんしゅう
・演習

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1～2コマ(90分×1～2)

だいがく ひつよう にほんご こうとうはっぴよう きそてき のうりよく み かくがくせい
大学で必要となる日本語による口頭発表のための基礎的な能力を身につける。各学生は1つのテ
ーマについて発表と質疑応答を行う。特に、発表における口頭表現や論の展開について学習する。

こぶん
古文 [SP]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

こだい きんせい こてんぶんけん よ きそてき ちしき み とく こてんぶんぼう ごい
古代から近世までの古典文献を読むための基礎的な知識を身につける。特に、古典文法、語彙、
ひょうき ちゅうしん がくしゅう
表記などを中心に学習する。
おも しょうきょうかしよ こぶんにゅうもん
主な使用教科書:『古文入門』(CJLC,2003)

かんぶん
漢文 [SP]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

かんぶん どっかい かん きそてき ちしき み かんぶん こてん どっかい わやく がくしゅう にほんご
漢文の読解に関する基礎的な知識を身につける。漢文の古典の読解と和訳を学習し、日本語や
にほんぶんか なか と い ちゅうごく こてん した
日本文化の中に取り入れられた中国の古典に親しむ。
おも しょうきょうかしよ かんぶんにゅうもん
主な使用教科書:『漢文入門』(CJLC,2002)

こぶん かんぶん
古文・漢文 [SP]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

こぶん かんぶん よ にゅうもんてきちしき まな にほん ちゅうごく こてんぶんがく した
古文・漢文を読むための入門的知識を学ぶ。日本や中国の古典文学に親しむ。
おも しょうきょうかしよ こぶんにゅうもん かんぶんにゅうもん
主な使用教科書:『古文入門』(CJLC,2003), 『漢文入門』(CJLC,2002)

せんもん か もく
【専門科目】

にほんじじょう
日本事情 [JC]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

にほんじん にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ はばひろ しょうかい にほんぶんか りかい ちから やしな
日本人の日常生活や社会生活について幅広く紹介し、日本文化を理解する力を養う。

せいじ けいざい ぶんけい
政治・経済(文系) [POLI]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

にほん だいがく にゅうがく ひつよう せいじ けいざい ちしき み にほん せいじ けいざい かん
日本の大学への入学に必要な政治・経済の知識を身につける。日本の政治・経済システムに関する
せんもんようご ひょうげん しゅうとく にほんこくけんぽう にほん び してき きよしてき けいざいたいけい かんきょうもんだい
専門用語や表現の習得、日本国憲法、日本の微視的・巨視的な経済体系、環境問題などにつ
いて学ぶ。専門用語を日本語で理解することを通して、政治経済の教科書の理解、さらに文献の
よ と こうぎ りかい にほんご のうりよく ようせい
読み取り、講義の理解、日本語でのディスカッション能力の養成をはかる。
おも しょうきょうかしよ りゅうがくせい にゅうもんにほんせいじ りゅうがくせい にゅうもんにほんけい
主な使用教科書:『留学生のための入門日本政治』(CJLC,2001)、『留学生のための入門日本経
済』(CJLC,2002)

にほんし ぶんけい
日本史(文系) [HIST]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

にほん だいがく にゅうがく ひつよう にほんし ちしき み せんしじだい げんだい にほんし
日本の大学への入学に必要な日本史の知識を身につける。先史時代から現代までの日本史を
がいかん せんもんようご ひょうげん しゅうとく にほん こっかけいせい はじ とく きんせい せいき い こう じゅうてん
概観し、専門用語や表現を習得する。日本の国家形成から始め、特に近世(16世紀以降)に重点
をおき、きんだい か およ げんだい もんだい まな してい きょうかしよ くわ てきぎはいふしりょう
きんたい 近代化及び現代の問題について学ぶ。また、指定の教科書に加えて、適宜配付資料を
ていきょう じゅぎょうないよう じゅうじつ
提供し、授業内容の充実をはかる。
おも しょうきょうかしよ りゅうがくせい にほん れきし
主な使用教科書:『留学生のための日本の歴史』(CJLC,2006)

りけいすうがく りけい
理系数学(理系) [MATH]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

にほん だいがく にゅうがく ひつよう すうがく ちしき み すうがくてきしこうほう およ すうがく かん
日本の大学への入学に必要な数学の知識を身につける。数学的思考法、及び、数学に関する
せんもんようご ひょうげん しゅうとく おも がくしゅうこうもく しゅうごう ほうていしき ふとうしき ずけい しゃぞう とうしき
専門用語や表現を習得する。主な学習項目として、集合、方程式、不等式、図形、写像、等式、グ
ラフ、変換、弧度法、関数、解析幾何、数列、級数、数学的帰納法、二項定理、極限などを含む。

かがく りけい
化学(理系) [CHEM]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

にほん だいがく にゅうがく ひつよう かがく ちしき み かがくようご げんそめい かごうぶつめい
日本の大学への入学に必要な化学の知識を身につける。化学用語、元素名、化合物名などの
せんもんようご ひょうげん しゅうとく おも がくしゅうこうもく ぶつしつ な た げんそしゅうき かがくはんのうしき げんし
専門用語と表現を習得する。主な学習項目として、物質の成り立ち、元素周期、化学反応式、原子
ぶんし こうぞうおよ けつごう ふく
・分子の構造及び結合などを含む。
じっけん おこな
実験も行う。

ぶつり りけい
物理(理系) [PHYS]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

にほん だいがく にゆうがく ひつよう ぶつり ちしきおよ せんもんようご ひようげん み おも がくしゅうこうもく
日本の大学への入学に必要な物理の知識及び専門用語と表現を身につける。主な学習項目とし
て、古典力学、波動力学、電子、古典量子力学、電磁気学、固体物理学などを含む。
ぶつり ちしき しゅうとく ひつよう じっけん おこな
物理の知識を習得するために必要な実験を行う。

せいぶつ りけい
生物(理系) [BIOL]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

にほん だいがく にゆうがく ひつよう せいぶつ ちしきおよ せんもんようご ひようげん み おも がくしゅうこうもく
日本の大学への入学に必要な生物の知識及び専門用語と表現を身につける。主な学習項目とし
て、細胞の機能と構造、生殖と発生、遺伝の法則、バイオテクノロジー、生物群集と生態系な
どを含む。
せいぶつ ちしき しゅうとく ひつよう じっけん おこな
生物の知識を習得するために必要な実験を行う。

せんたくか もくじゅぎょう
C. 選択科目授業

にほんご か もく
【日本語科目】

じょうきゅうどっかい
上級読解 [RDG]

とくてい せんもんぶんや かん ちじゆつ せいどく たどく おこな どっかいのうりよく たか
特定の専門分野に関する著述の精読、多読を行い、読解能力を高めるとともに、その分野の専門用語
ひょうげん まな だいがく ひつよう きほんてき せんもんちしき しゅうとく
や表現を学び、大学で必要とされる基本的な専門知識を習得する。

せんもん か もく
【専門科目】

ぶんけいすうがく
文系数学 [MATH]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり2コマ(90分×2)

けいざいがく けいえいがく せんこう がくせい すうがく にほん だいがく にゅうがく ひつよう すうがく ちしきおよ
経済学、経営学を専攻する学生のための数学。日本の大学への入学に必要な数学の知識及び
せんもんようご ひょうげん み おも がくしゅうこうもく だいすうがく いちじ にじほうていしき く あ
専門用語と表現を身につける。主な学習項目として、代数学、一次・二次方程式、組み合わせ、
かくりつ びせきぶん かいせきき か ふく
確率、微積分、解析幾何などを含む。

えいご
英語 [ENG]

しゅうかん あ ぶん
1週間当たり1コマ(90分×1)

ほん じっし えいご けっか じゅこう ひつよう はんたん がくせい えい
本センターが実施する英語プレースメントの結果、受講が必要であると判断された学生のための英
ご にほん だいがく にゅうがく ひつよう えいご ちしき み どっかい さくぶん にほんご ちえいご
語。日本の大学への入学に必要な英語の知識を身につける。読解、作文、日本語から英語への
ほんやく えいご にほんご ほんやく がくしゅう
翻訳、英語から日本語への翻訳を学習する。

じ だいがく しんがく
D. 次大学への進学

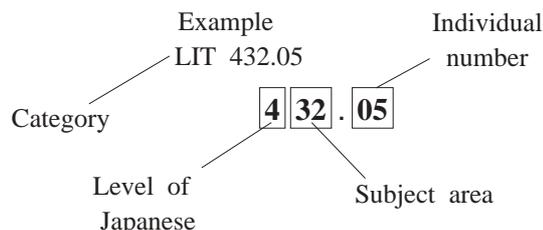
もんぶか がくしゅう がくぶりゅうがくせい しんがくしんせい だいがく とうがいだいがく きょうぎ うえけつてい がくせい
文部科学省は、学部留学生が進学申請する大学を当該大学と協議の上決定します。学生の
きぼう センターでの成績、大学の受け入れ学生数などの要因が決定の際に考慮に入れられます。

がくぶりゅうがくせい じょうき けつてい したが しんがくしんせい おこな とうがいだいがく にゅうがくしゃせんぼつしけん ごうかく
学部留学生は、上記の決定に従って進学申請を行い、当該大学の入学者選抜試験に合格し
あと じ だいがく にゅうがく きよか
た後、次大学への入学を許可されます。

科目コード / Course Numbering System

【日本語レベル Japanese Language Levels】

初級 Elementary	100.x-
初中級 Upper-Elementary	200.x-
中級 Intermediate	300.x-
上級 Advanced	400.x-



【科目分野 Subject Categories & Areas】

日本語・日本文化研修科目 (JPN 00-19)

必修科目 Required

SP	00.01-01.99
RK	02.01-03.99
LIS	06.01-06.99
CONV	07.01-07.99
JC	09.01-09.79
MDR	09.81-09.99

選択科目 Elective

SP	10.01-11.99
K	13.01-13.99
RDG	14.01-14.99
COMP	15.01-15.99
LIS	16.01-16.99
CONV	17.01-17.99
CAI	18.01-18.99
JC	19.01-19.79
MIS	19.81-19.99
GS	20.01-20.99

言語系研究科目 (LIN 30-39)

R 日本語学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	30.01-30.99
R 日本語学 Japanese Linguistics	31.01-31.99
R 国語学 Japanese Philology	32.01-32.99
R 日本語教育学 Teaching Japanese as L2	33.01-33.99
R 古典文法 Classical Japanese	34.01-34.99

文学系研究科目 (LIT 40-49)

R 日本文学入門 Japanese Literature (General Survey)	40.01-40.99
R 近・現代文学 Modern Literature	41.01-42.99
R 古典文学 Classical Literature	43.01-44.99
R 漢文 Classical Chinese	45.01-45.99

文化・歴史系研究科目 (CUL 50-59)

R 芸術学 Arts	50.01-50.99
R 民俗・文化 Folklore & Culture	51.01-52.99
R 歴史 History	53.01-54.99
R 思想・宗教 Thought & Religion	55.01-56.99

社会科学系研究科目 (SOC 60-69)

R 経済・経営学 Economics & Business Admin.	60.01-61.99
R 政治学・法学 Politics & Law	62.01-62.99
R 国際関係 International Relations	63.01-63.99
R 社会学 Sociology	64.01-64.99
R 教育学 Education	65.01-65.99

自然科学系研究科目 (NAT 70-79)

R 自然科学 Natural Sciences	70.01-70.99
R 環境問題 Environmental Problems	71.01-71.99

専門読解・演習 (RS 80/DR 80)

RS 専門読解 Reading in a Specific Field	RS 280.01-280.99
DR 専門演習 Directed Research & Reading	DR 480.01-480.99

Maple Program 配当科目については、略号の前に「M」を加える

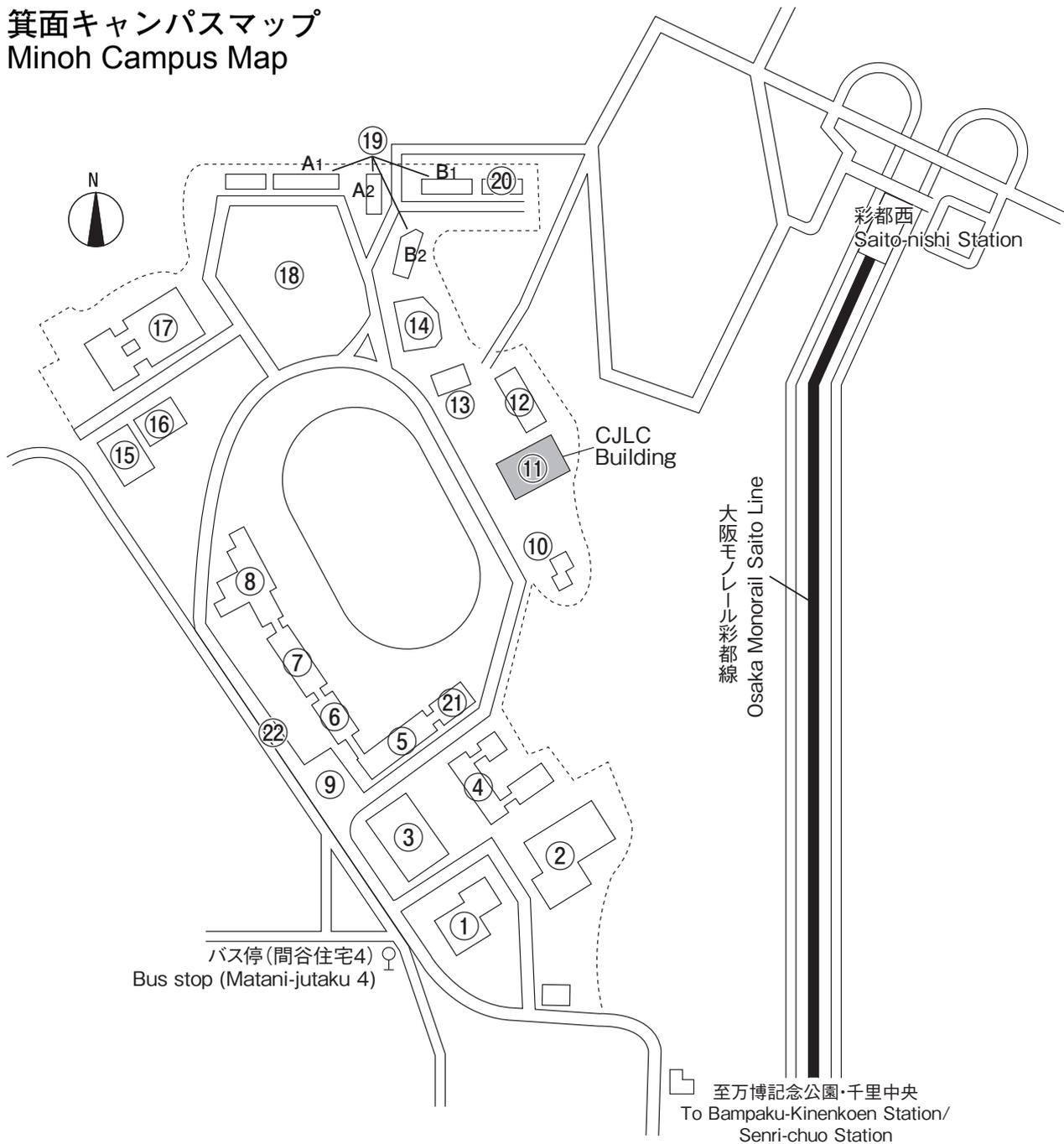
Levels/Programs	
J	Japanese Studies Program
U	Undergraduate Students Program
MM	Intermediate Level in Maple Program
MA	Advanced Level in Maple Program

Types	
Lec.	Lecture
Sem.	Seminar
Rec.	Recitation

Subjects	
BIOL	Biology
CAI	Computer-Assisted Instruction
CHEM	Chemistry
COMP	Composition
CONV	Conversation
DR	Directed Research and Reading
ENG	English
GS	General Studies
HIST	Japanese History
JC	Japanese Cultural Background
K	Kanji
LIS	Listening Comprehension
MATH	Mathematics
PHYS	Physics
POLI	Politics and Economics
R	Reading and Research
RDG	Reading
RK	Reading and Kanji
RS	Reading in a Specific Field
SP	Sentence Patterns
MDR	Special Seminar on Japanese Language and Culture
MR	Research Subjects in Japanese Studies
MIS	Independent Studies
MSP	Modern Japanese : Sentence Patterns

みのお
箕面キャンパスマップ
Minoh Campus Map

箕面キャンパスマップ Minoh Campus Map



○利用交通機関

[モノレール] 大阪モノレール：彩都西駅下車 徒歩約 15 分

[バス] 阪急バス：千里中央発「阪大外国語学部前行」、「間谷住宅行」

阪急バス：北千里発「阪大外国語学部前行」、「間谷住宅行」

阪急バス：箕面（阪急箕面駅）発「間谷住宅行※」

いずれも、阪大外国語学部前または間谷住宅 4 下車 徒歩すぐ

なお、土・日・祝日及び春期／夏期／冬期休業期間については、千里中央発（北千里経由）「阪大外国語学部前行」は運休となりますので「間谷住宅行」をご利用ください。

（※印の路線は運行本数が少ないので注意してください。）

○ How to get to Minoh Campus

[Monorail] Osaka Monorail：15 minute walk from Saito-nishi Station

[Bus] Hankyu Bus (from Senri-chuo Station)：Take the bus bound for “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” or “Matani-jutaku”

Hankyu Bus (from Kita-senri Station)：Take the bus bound for “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” or “Matani-jutaku”

Hankyu Bus (from Minoh Station)：Take the bus bound for “Matani-jutaku” (note 1)

Get off at “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” or “Matani-jutaku 4”, from where it is a short walk to Minoh Campus.

The bus bound for “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” from Senri-chuo Station (via Kita-senri Station) does not run on Saturdays, Sundays, holidays and during spring/summer/winter vacation, and so take the bus bound for “Matani-jutaku” to get to Minoh Campus.

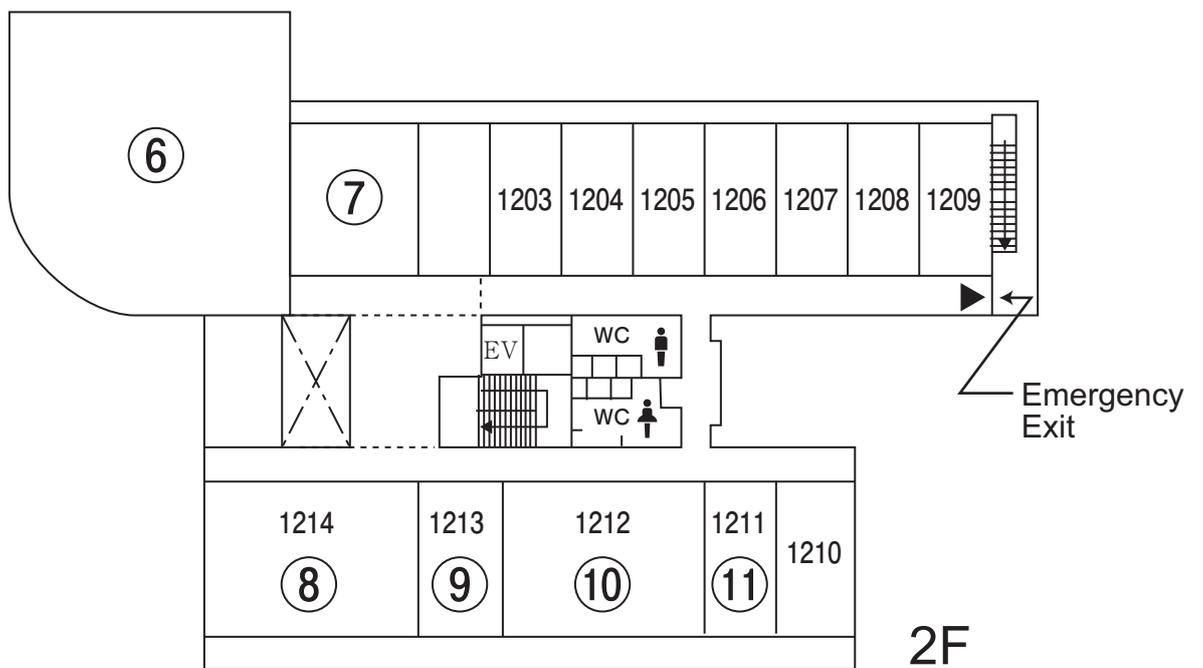
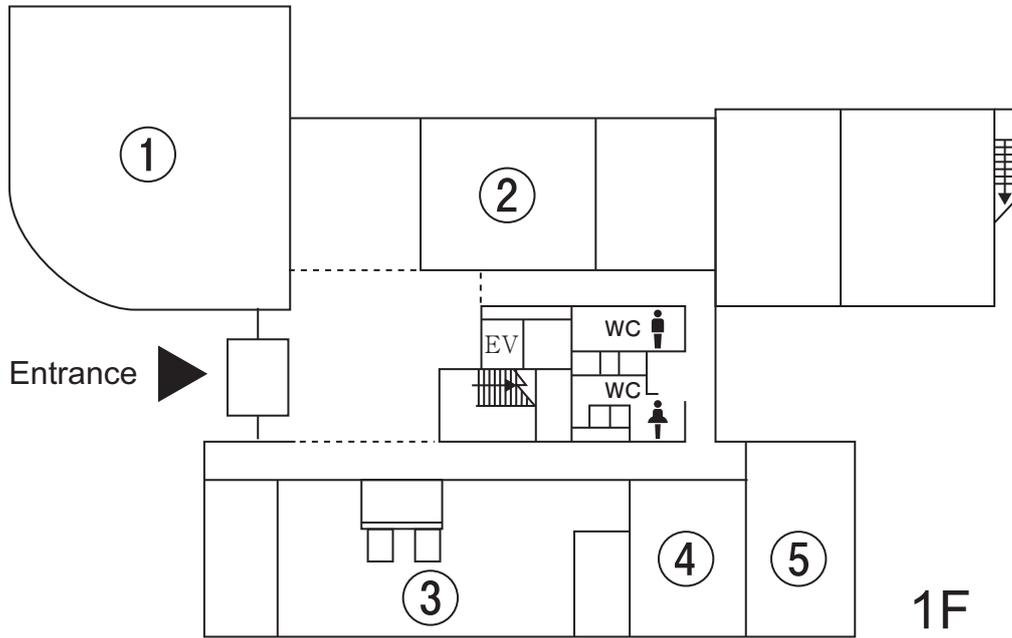
(note 1): Please be careful as the number of buses leaving from Minoh Station is very few.

番号 Number	施設 Facility
①	管理棟 Administration Building
②	箕面福利会館 Minoh Cafeteria & University Bookstore
③	外国学図書館 International Studies Library
④	研究・講義棟 (A 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building A)
⑤	研究・講義棟 (B 棟) ※ Classrooms and Faculty Offices (Building B)
⑥	研究・講義棟 (C 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building C)
⑦	研究・講義棟 (D 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building D)
⑧	研究・講義棟 (E 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building E)
⑨	バスターミナル Bus Terminal
⑩	記念会館 Memorial Hall
⑪	日本語日本文化教育センター棟 Center for Japanese Language and Culture Building
⑫	サークル共用施設 Extracurricular Activities Facilities
⑬	箕面留学生会館 2 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 2
⑭	箕面留学生会館 1 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 1
⑮	ハンドボールコート Handball field
⑯	プール Swimming Pool
⑰	体育館 Gymnasium
⑱	テニスコート Tennis Court
⑲	学生寮 (A1, A2, B1, B2) Dormitories for Students
⑳	箕面国際学生宿舎 Minoh International Student House
㉑	総合研究棟 General Research Building
㉒	学内連絡バス停留所 School Bus Stop (Inter-campus Shuttle Bus Service)

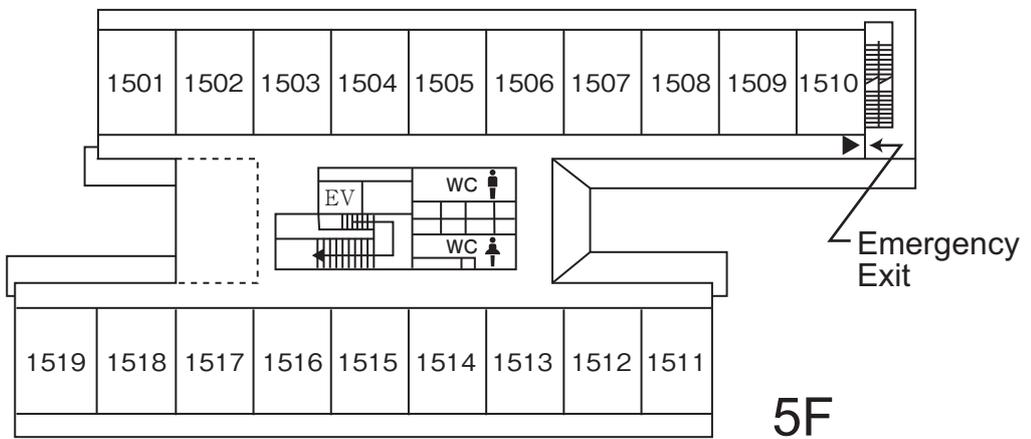
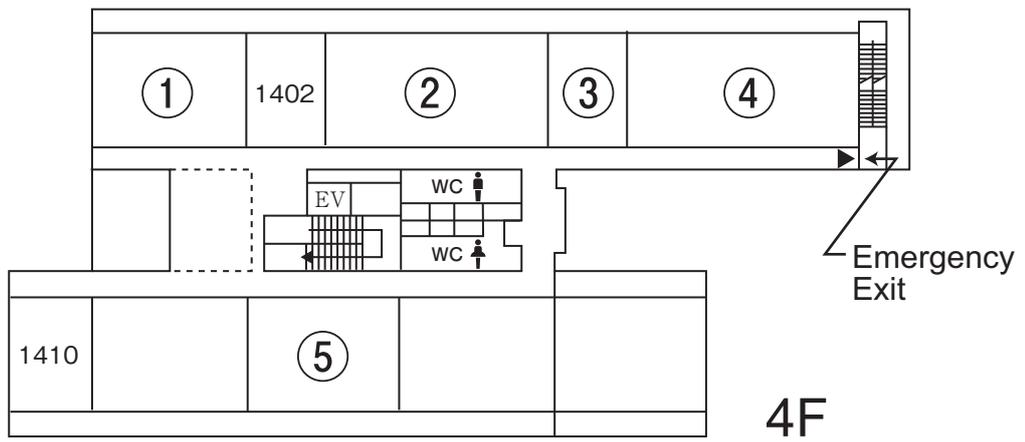
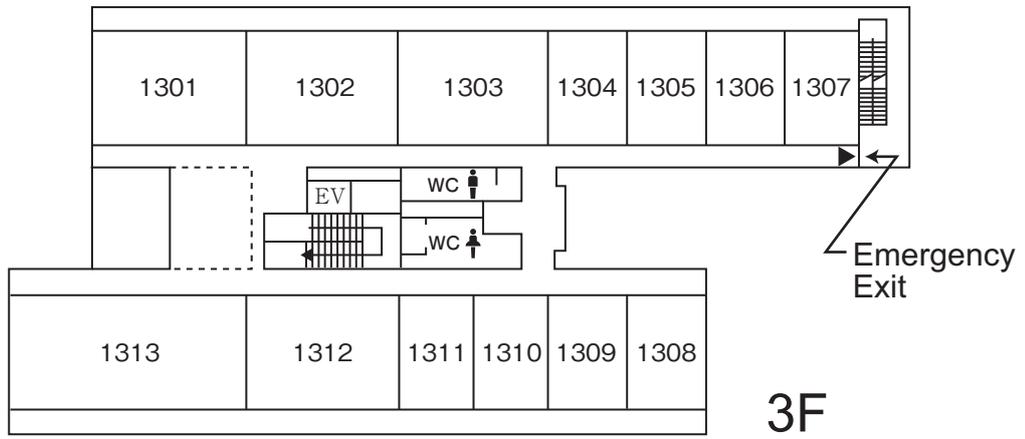
※国際教育交流センター箕面分室 (1 階)

Center for International Education and Exchange, Minoh Branch (1st floor)

日本語日本文化教育センター棟
CJLC Building



番号 Number	施設 Facility
①	多目的ホール CJLC Hall
②	講師控室 Instructors' Lounge
③	CJLC 事務室 CJLC Office
④	応接室 Reception Office
⑤	センター長室 Director's Office
⑥	センター図書室 CJLC Library Room
⑦	コンピュータラウンジ Computer Lounge
⑧	LL 実習室 Language Laboratory
⑨	授業見学室 Observation Room
⑩	マルチメディア教室 Multimedia Classroom
⑪	コンピュータ小教室 Computer Room



番号 Number	施設 Facility
①	共同研究室 1 CJLC Faculty Room 1
②	物理実験室 Physics Laboratory
③	実験準備室 Lab Equipment Room
④	化学実験室 Chemistry Laboratory
⑤	共同研究室 2 CJLC Faculty Room 2

※ 教員研究室
Instructors' Offices

部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name	部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name
1410	小森 万里 M. KOMORI	1510	佐野 方郁 M. SANO
1501	五之治 昌比呂 M. GONOJI	1511	今井 忍 Sh. IMAI
1502		1512	荘司 育子 I. SHOJI
1503	水田 明男 A. MIZUTA	1513	岸田 泰浩 Y. KISHIDA
1504	水野 亜紀子 A. MIZUNO	1514	平尾 得子 T. HIRAO
1505	村田 真実 M. MURATA	1515	岩井 康雄 Y. IWAI
1506	薦 清行 K. TSUTA	1516	中田 一志 H. NAKATA
1507	嶋本 隆光 T. SHIMAMOTO	1517	加藤 均 H. KATO
1508	山川 太 F. YAMAKAWA	1518	岩井 茂樹 Sh. IWAI
1509	大和 祐子 Y. YAMATO	1519	柴田 芳成 Y. SHIBATA

履修届

Subject Registration Form

Fall Semester, 2014-2015

Name

Nationality

Class

Contact Information

Advisor

Student No.

*Please write your phone number or e-mail address for emergency contact

*Submit this form to the CJLC Office by October 21st. (J Program)
Submit this form to the CJLC Office by October 21st. (U Program)

印

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
II	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
III	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
IV	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
V	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)

Special Class

(Jプログラムのみ)

- 研修コース
- 研究コース (論文作成トラック)
- 研究コース (自主研究トラック)

ex.

COMP	← Subject
JPN (214 . 02)	← Code
A. SUZUKI	← Instructor

大阪大学日本語日本文化教育センター
Center for Japanese Language and Culture, Osaka University

発 行 平成 26 年 9 月

Published in September, 2014

編 集 大阪大学日本語日本文化教育センター

Edited by Center for Japanese Language and Culture,
Osaka University

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東 8 丁目 1 番 1 号
8-1-1, Aomatani-higashi, Minoh, Osaka

Phone (072) 730-5075, 5076 (学生交流推進課)

Fax (072) 730-5074